

官報

號外

明治三十九年三月二十五日

日曜日

印刷局

○第二十二回 衆議院議事速記録第二十一號

明治三十九年三月二十四日(土曜日)午後一時十分開議

議事日程 第二十號 明治三十九年三月二十四日

午後一時開議

- 第一 生絲検査法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二 臺灣總督府鐵道部現金前渡官吏設置ニ關スル法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 登録稅法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 癩豫防法案(山根正次外)
第一讀會
- 第五 狩獵法中改正法律案(森肇外二)
第一讀會
- 第六 監視廢止ニ關スル法律案(望月長夫外)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第七 大船渡開港鐵道鐵業ニ關スル建議案(阿部德三郎外九名提出)
- 第八 帝國議會議事堂建築ニ關スル建議案(橫井雄外三名提出)
- 第九 市町村立小學校教員俸給國庫補助ニ關スル建議案(根本正外五名提出)
(委員長報告)
- 第十 羽越鐵道速成ニ關スル建議案(瀨下秀夫外三名提出)
(委員長報告)
- 第十一 (特別報告第十七號)足尾銅山鑛毒處分ノ請願外二件
(委員長報告)
- 第十二 (特別報告第二十號)渡良瀬川沿岸地方特別地價洩再修正ノ請願外三件
(委員長報告)
- 第十三 (特別報告第二十三號)渡良瀬川沿岸地方特別地價院議實行ノ請願
(委員長報告)
- 第十四 (特別報告第二十一號)工業專門學校設立ノ請願
(委員長報告)

○議長(杉田定一君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

- 一 貴族院ヨリ送付セラレタル政府提出案左ノ如シ
- 紙幣類似證券取締法案
- 一望月長夫君ヨリ樺太統治ニ關シ、花井卓藏君ヨリ緊急勅令ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サル理由ニ關スル再質問主意書ヲ提出セラレタリ

官報號外

明治三十九年三月二十五日(明治三十五年第三種郵便物認可)

衆議院議事速記録第二十一號 議長ノ報告

三八七

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲メ茲ニ掲載ス)

樺太統治ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十九年三月二十三日

贊成者 波多野傳三郎

外二十九名

提出者 望月 長夫

樺太統治ニ關スル質問書

一 樺太島ハ平和克復後既ニ六箇月ヲ閱シタルモ尙軍政ヲ施行シ、アリ政府ハ何レノ時迄之ヲ繼續セントスルカ

一 樺太島軍政廢止ノ場合ハ帝國憲法ノ條規ニ從ヒ同島ヲ統治スルヲ以テ相當ナリト信ス政府ノ所見如何

一 樺太島割讓前同島沿岸漁業權ノ長期貸下特許ヲ露國政府ヨリ得タル露國人某々等ハ其特許期限ノ殘期ニ付キ我カ政府ノ追認ヲ要求シタリト聞ク果シテ其事實アリヤ否ヤ

一 果シテ其事實アリトスレハ政府ハ如何ニ之ヲ處置セントスルカ

緊急勅令ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サル理由ニ關スル再質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十九年三月二十四日

提出者 花井 卓藏

贊成者 磯部 四郎

外二十名

緊急勅令ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サル理由ニ關スル再質問主意書

本員ハ明治三十九年二月七日付ヲ以テ緊急勅令ニ關スル質問主意書ヲ提出シ、次テ同年三月十日付ヲ以テ該質問ニ對シ答辯ヲ爲サル理由ニ關スル質問主意書ヲ提出シタリ而シテ質問ノ目的ハ憲法上帝國議會ノ有スル權利ヲ保全シ事後承諾ノ本義ヲ明確ニスルニ在リ問題ノ繁ル所極メテ重大ナリトス然ルニ政府ハ曠日彌久會期盡クルニ垂ントシテ今仍ホ答辯ヲ爲サス而シテ全然議院法第四十九條ノ法規ヲ無視セリ依テ更ニ質問スルコト左ノ如シ

第一 政府ハ該質問書ニ對シ結局答辯ヲナサル意思ナリヤ

第二 政府若シ答辯ヲナス意思アリトセハ三月二十六日三月二十七日ノ兩日何レノ日ニ於テスル積ナリヤ

第三 政府ハ會期切迫ノ日ニ於テ答辯ヲナシ再質問ノ道ヲ塞ク積ナリヤ

(參考)

一 質問主意書提出以來四十六日ヲ經過セリ而シテ會期剩ス所僅ニ二日ナリ

二 岡野法制局長官ハ三月十三日ノ議場ニ於テ數日ヲ出スシテ答辯スヘキ旨ヲ言明セリ

三 質問主意書提出ヨリ其答辯ニ至ル日子ニ關シ先例ヲ按スルニ短キモノハ平均七日長キモノト雖モ平均二十六日ヲ出テス而シテ四十六日ヲ閱シテ仍ホ答辯ヲナサルカ如キハ實ニ絕無ノコトナリ

右及質問候也

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕
一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
國債ニ關スル法律案

委員長 岡田 治衛武君 理事 守屋 此助君
後藤 文二郎君

貯蓄銀行法案 理事 井上 要君
中澤 楠彌太君

委員長 佐竹 作太郎君 理事 東尾 平太郎君
久保 彦太郎君

登録税法中改正法律案 理事 菅澤 重雄君

委員長 中西 光三郎君 理事 神崎 東藏君

臺灣總督府鐵道部現金前渡官吏設置ニ關スル法律案 理事 是永 歲太郎君
佐藤 庫喜君

委員長 島海 哲四郎君 理事 石田 孝吉君

大角力常設館國庫補助ニ關スル建議案 理事 濱田 國松君

委員長 山本 幸彦君 理事 加瀬 禧逸君

穀物検査ニ關スル建議案 理事 小田 文行君

委員長 藤 金 作君 理事 安島 重三郎君

市町村長ニ對スル行賞ニ關スル建議案 理事 花井 卓藏君

委員長 石川 清君 理事 伊勢神宮大祓及曆頒布ニ關スル建議案

委員長 伊夫伎 資弼君 理事 濱田 國松君

刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者ノ公民權及選舉權被選舉權ニ關スル法律案 理事 加瀬 禧逸君

委員長 望月 長夫君 理事 小田 文行君

屯田兵恩給ニ關スル建議案 理事 安島 重三郎君

委員長 上野 彌一郎君 理事 花井 卓藏君

行政裁判ニ關スル建議案 理事 安島 重三郎君

委員長 宮古 啓三郎君 理事 花井 卓藏君

辯護士法中改正法律案 理事 花井 卓藏君

委員長 村松 龜一郎君 理事 花井 卓藏君

議長(杉田定一君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

○福井三郎君 是ヨリ請願第一分科會ヲ開キマス

○議長(杉田定一君) 請願第一分科會ヲ、是ヨリ開會致シタイト云フコトニ御異議

ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○川島龍藏君 明治三十二年勅令第三百二十二號廢止ニ關スル建議案ノ委員會ヲ

開キタウゴザイマスカラ、御許可ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 明治三十三年勅令第三百二十二號廢止ニ關スル建議案ノ委

員會ヲ是ヨリ開クト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○岡田治衛武君 國債ニ關スル委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ、退席ノ御許可ヲ願

ヒマス

○議長(杉田定一君) 國債ニ關スル委員會ヲ開クト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌ

カ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○花井卓藏君 登壇ヲ致シテ演説ハシマス、此席ヨリ簡單ニ質問ヲ致シマス、先日

提出致シテ置キマス質問書ガ、一通ゴザイマス、一通ハ「ニコライ」教會堂建設地ニ關

スル質問趣意書ト題スルモノデゴザイマス、今一通ハ刑事事件統計表ニ關スル質問

趣意書ト題スルモノデゴザイマス、前者ハ公使館附屬地ノ性質ヲ明確ニシテ、サウシテ教

會法ニ於ケル土地ノ性質ヲ法律上ヨリ明カニセント欲スルニ依リ、提出致シマス、後者ハ

刑事事件統計表ヲ製シテ關シタル質問デ、而シテ裁判所ノ信用ヲ増サン

トスル趣意ニ於テ提出シタノデゴザイマス、此點ニ關シタル質問ハ、兩様共審ニ書面ニ認メテ

ゴザイマスカラ、會期切迫ノ今日特ニ登壇ヲ致シマス、此點ニ關シタル質問ハ、兩様共審ニ書面ニ認メテ

シテ、速ニ答辯アラント此場ニ於テ要求シテ置キマス、今一通ノ質問ハ事重大デアリ

マス、速ニ答辯アラント此場ニ於テ要求シテ置キマス、今一通ノ質問ハ事重大デアリ

マス、速ニ答辯アラント此場ニ於テ要求シテ置キマス、今一通ノ質問ハ事重大デアリ

マス、速ニ答辯アラント此場ニ於テ要求シテ置キマス、今一通ノ質問ハ事重大デアリ

マス、速ニ答辯アラント此場ニ於テ要求シテ置キマス、今一通ノ質問ハ事重大デアリ

マス、速ニ答辯アラント此場ニ於テ要求シテ置キマス、今一通ノ質問ハ事重大デアリ

マス、速ニ答辯アラント此場ニ於テ要求シテ置キマス、今一通ノ質問ハ事重大デアリ

マス、速ニ答辯アラント此場ニ於テ要求シテ置キマス、今一通ノ質問ハ事重大デアリ

マス、速ニ答辯アラント此場ニ於テ要求シテ置キマス、今一通ノ質問ハ事重大デアリ

マス、速ニ答辯アラント此場ニ於テ要求シテ置キマス、今一通ノ質問ハ事重大デアリ

マス、速ニ答辯アラント此場ニ於テ要求シテ置キマス、今一通ノ質問ハ事重大デアリ

マス、速ニ答辯アラント此場ニ於テ要求シテ置キマス、今一通ノ質問ハ事重大デアリ

マス、速ニ答辯アラント此場ニ於テ要求シテ置キマス、今一通ノ質問ハ事重大デアリ

マス、速ニ答辯アラント此場ニ於テ要求シテ置キマス、今一通ノ質問ハ事重大デアリ

マス、速ニ答辯アラント此場ニ於テ要求シテ置キマス、今一通ノ質問ハ事重大デアリ

マス、速ニ答辯アラント此場ニ於テ要求シテ置キマス、今一通ノ質問ハ事重大デアリ

世ノ中ニ表明シタイ考アリマス、是ハ全ク善意ノ質問デアル、必ズ此事柄ヲ摘發シテ以テ、ドウシヤウト云フ考モ何モナイ、ソレカラ又大倉組ト云フモノニ向テモ、私ハ別ニ恩怨ノアルモノデモ何デモナイ、ソレ故ニ是亦大倉組ノ得タコロノモノガ、或ハ正當ノ手續デアルヤ否ヤト云フコトヲ茲デ判明スルコトハ、甚ダ必要ナコトデアルト私ハ思フ、ソレテ私ノ質問セント欲スルコトコロノハ、滿韓ニ貯蓄シ置タル糧米ニ關スル質問ト云フ表題デ、大連、營口、奉天、遼陽、其他ニ於ケル糧食ノ後始末如何、其二ニハ其糧食中ノ中營口ニアリシコロノ臺灣米ヲ東北三縣凶作地ニ拂下ケルノ見込ヲ以テ、內務大藏兩省ガ陸軍省ト交渉中、突然大倉組ニ拂下ケタル理如何、三ハ昨年九月以降ニ涉ル物件ヲ茲ニ明カニシテ置キマス、罐詰、小罐魚肉、味噌、麵、干野菜、大麥、燕麥、豆粕、玄米、白米、割麥等ヲ拂下ケタル數量及金額幾許ト云フデアリマス、是ハドウ云フ譯デアルカト云フト、元來糧食米ノ拂下ケニ關スルコトデテ止メヤウト思ヒマシタガ、他ニ拂下ケタルモノガ幾多モアルヤウニ思ハレマス故ニ、此質問ヲ起シタ所以デアリマス、ソレテ此二十萬石ヲ大倉組ニ拂下ケタル條項中ニ、是ノ如キノ一項ガアルト云フ、拂米ノ中ニ一部ノ腐敗米ガアルトキハ、是ヲ全部ノ腐敗米ト看做シテ直下ケラスルト云フ、巧妙ナル約束ガ成立テ居ルト云フコトデアル、ソレ故ニ此事ニ付イテ一度大倉組ガ得テカラ、其米ガ如何ニ成立テ居ルト云フコトヲ第一ニ聽キタイノデアル、大倉組ガ拂下ケタルモノニ向テ、金額ヲ何レノ時カ仕拂フナシテ居ルトナルカト云フコトモ聽キタイノデアル、其米ハ約束通りニ即チ腐敗米ト云フモノハナク、受渡ガ済シタモノデアルカ否ヤト云フコトガ、最も聽カント欲スルコトデアル、ソレカラソレニ伴ナウテ私ノ不思議ニ思ウテ居リマス、此半ヲ拂下ケタルニ當テハ、理トシテハ遼河ノ結水ガ最早近キニアルメニ、之ヲ急ニ賣ランケレバナラヌト云フコトデアル、然ルニ誰ノ手ニ渡シタモ、遼河ノ結水ハ覺悟シテ買ハンケレバナラヌト云フコトデアル、政府ノ手ヲ放レルト云フ上ニ對シテ、政府ハ惻巧ニ立廻リ積リデアルカ知レヌケレドモ、算盤ヲ取テ居ル商人ハ、政府ノ惻巧ニ立廻リ積リデアル以上ノ立廻リガアリサウニ思ハレマス、誰ノ手ニ渡シタモ、遼河ノ結水ヲ打破シテ外へ出スト云フコトハ出來ヌノデアル、此臺灣米二十萬石ノ拂下ケハ開クトコロニ依ルト、是ノ如クニ私ノ耳ニ觸レテ居ルト云フデアル、此臺灣米ヲ拂下ケタルハ、三縣ノ知事其他カラ申出ラレテ居ルトコロノ米デアデ、東北地方ノ三縣ニ向テ、之ヲ救助——救助デハナイ、拂下ケンケレバナラヌト云フコトヲ知リツ、大倉組ガ之ヲ拂下ケタルノアルト云フコトデアル、ソコデ此拂下ハ甚ダ不穩當ノコトデアルト云フコトヲ茲デ私ハ發見致シマス、ソレ故ニ之ヲ取調ベルニ當テ、如何ナル手續ニナテ居ルト云フコトヲ段々取調ベテ見ルト、十月二日午後零時ノ電報ト、午後二時二十分ノ電報ニ於テハ、營口ニ於テ、ソレカラモウ一ツハ十月二十三日ノ電報ガアリマス、此間漸ク九日間ノ間ダシカナインデアル、ソレテ第一ノ電報ハドウ云フ電報デアルカト云フト、臺灣米賣却ノ件ハ、如何ニ進行シテ居ルヤトノ電報ヲ發シマシテ、又已ニ賣却ノ分アラバ、其數量單價ヲ合セテ承知シタシト云フ電報ヲ經理部長ニ宛テ、野戰經理官ガ之ヲ打チマシタ(單簡ト呼フ者アリ)單簡デハ分ラヌ、所ガ十月十三日午後二時二十分發電報ヲ以テ、營口ニ於テ賣却ノ豫定ナリシモ、當時市街ニ「ベスト」病發生シ又遮斷檢疫ノタメ不利ノ狀況ニ在ルヲ以テ中止スルコト、ナレリ、他ニ賣却セシコトナシト云フ、電報ガアル、ソレカラ越ヘテドウ云フ電報ガ來テ居ルト云フト、即チ是ハ滿洲軍總經理部長デ、野戰經理局長官ニ宛テタルコロノ電報ハ營口支庫長臺灣米悉皆、同白米五萬石ヲ去ル二十一日左ノ價格ヲ以テ大倉組ヘ

悉皆賣却契約ヲ締結セリ、斯ウ云フ電報ガアリマス、其價ハ幾許デアルト云フト、是ハ軍票ヲ以テ一石八圓十三錢六厘ト云フモノガ、即チ玄米デアル、ソレヲ日本ノ通貨ニ換算致シマスルト云フト、七圓三十二錢二厘デアル、ソレカラ白米ハ一石九圓七十五錢七厘デ賣却シタモノガ、日本ノ通貨ニ直シマスルト云フト、八圓七十八錢一厘ニ相成ルノデ、此價ノ當否ハ私ハ言ハヌガ、兎ニ角ハ三縣知事ガ心配シテ、東北ノ凶作地ヘ持テ來テ充テヤウト云フノデ、內務大藏兩省ガ心配ヲ致シマシテ、即チ交渉中ノモノガ、俄ニ大倉組ノ手ニ渡シタト云フ一事ニ至テハ、甚ダ不思議ニ感ゼラル得ヌ、僅カノ九日間ノ間デ、又入札ノ有様ヲ聞キマスルト、大倉組ニ落札シタト云フコトハ、結果ヲ知ラシタダケノコトデアデ、公入札ニハ附サヌト云フコトデアル、ソレカラ此米ト云フモノハ臺灣米デアアルガ「サミュエル」商會カラ買入レタ米デアルト云フコトデ、ナカノ廉クハナイ米デアデ、或ハ一石二付イテハ十七八圓位ニ付イテ居リハセヌカト云フコトデアル、是ハ併シ格段高イモノヲ格別高ク賣ラウト云フコトハ出來ヌ、矢張時價ニ依テ賣ランケレバナラヌ、米ノ廉イ高イト云フコトニハ論及スルニアラスシテ、東北ノ救濟ノタメニ其米ヲ宛テヤウト云フモノガ、俄然大倉組ノ手ニ渡シタト云フコトハ、甚ダ不思議ニ思ハレルト云フ、ソレ故ニ茲ニ至テ大倉組ノ拂下ケタルコロノ糧米ハ、諸君ノ御承知ノ通り、新聞紙上ニモ非常ニ攻撃ガアデ、非常ニ非難ヲ受ケタコトデアル、ソレ故ニ皆御存ジノコトデアリマセウガ、其他ノモノハ如何ニ成行テ居ルト云フコトガ、杞憂ニ堪ヘヌノデアル、ト云フノハ何様一事件ニ於テ是ノ如キモノデアル、知ラヌ所ノモノ——多數ノモノガ備ヘタルコロノモノデアアルカラ、如何ニ成行テ居ルト云フコトハ、大ニ疑ザルヲ得ヌノデアル、此疑惑ト云フモノヲ解クト云フコトガ、即チ今私ノ第一ニ質問セント欲スルコトコロノ事柄ハ明瞭ニ解決スレバ、從テ信用ヲ得ラル、コトデアル、得レバ即チ唯今申上ゲタ通りノ譯デ、或ハ陸軍省ハ他ノタメニシテ、トシテモナイ批難ヲ受ケテ居ルヤウナ結果ヲ見出サヌトモ保シ難イコトガアルト思フノデアル、全國ノ壯丁ハ悉ク出陣ヲ致シテ、滿洲御承知ノ通り非常ニ功績ヲ擧ゲタコトデアリマス、殊更ニ二師團ヤ八師團ヲ茲デ特出シテ以テ、諸君ノ清聽ヲ請フト云フ次第デアリマセヌカ、取分ケ私ハ茲デ陸軍省ニ向テ、大ニ注意ヲ促シテ置キタイト云フノハ、陸軍省其者ガ分ラヌ譯デハ必ズナイノデアル、ナイノデアルガ、二師團及八師團ノ管區ニ屬スルモノデアアルカラシテ、責務上諸君ニ之ヲ訴ヘテ置カナケレバナラヌト思フノデアル、二師團ハ御承知ノ通り鴨綠江ノ第一戰以來、各地ニ轉戰シテ、著シク奏功ヲ爲シテ居ルト云フ、ソレカラ第八師團ハドウデアアルカト申シタナラバ、第八師團ハ即チ巖手縣宮城縣ノ北部ヲ以テ出來タル師團ノ管區デアル、是ハドウデアアルカト云フト、有名ナル即チ黑溝臺、師團ノ全滅ヲ期シテ以テ大ニ奮戰シタコロノ即チ壯丁デアアル、從テ奉天ノ役ニ參加シテ以テ、大ニ功ヲ奏シタルコロノ壯丁ノ即チ鄉地デアアルノデアル(其通りト呼フ者アリ)サウ云フ次第デアアルガ故ニ、陸軍省ガ出來得ル限リハ此便宜若ハ大ニ之ヲ救助スルノ責務ガアルノデアル、ソレヲ事其所ニ出デザルモノハ、何デアアルカト云フコトハ、甚ダ私ハ遺憾トスルコトデアアルノデアル、若シ之ヲ惡シキ方ノ方面カラ考ヘタナラバ、一個人ノ大倉組ガ大事デアアルカ、或ハ三萬石ノ即チ三縣ノ窮民ガ大切デアアルカト云フコトハ、云ハデモ知レタコトデアリナイカ、三歲ノ童子ト雖モ知ルヲ得ルコトデアアル、況ヤ政府ノ當局者ガ此位ノコトガ分ラヌト云フコトハナイ答デアアルノデアル、ソレ故ニ私ハ如何ニモ殘念ナコトデアアル、東北ノ窮民ガ困テ居ルトコロニ——因テ居テ、此米ヲ得ヤウト云フコトコロノヲ横取スルト云フヤウナモノハ、如何ナル心事デアルト云フコトヲ疑フノデアル、

又之ヲ其者ニ任セタト云フコトノ當局者ノ心事モ實ニ測リ知ルベカラザルコトデア
アル、ソレ故ニ此等ハ何カ素因ノアルコトデアラウト思フノデア、私ノ聞キ知ルトコロニ
依ルト云フ、陸軍省ハ其事柄ニ向テハ、熱中シテ以テ、其望ミニ副ハント欲シテ居
タガ、農商務省ノ方デ此米ハ要ラヌト云フタカ云フヤウナコトハ、耳ニシテ居ルガ、是
ハ遠聞キニ聞イタコトデア、私ガ直接ニ聞カヌコトデア、カラ分ラヌコトデア、或ハサ
ウ事實アリトモ、折角此海陸軍ハ世間ニ尊重サレテ以テ、獨リ日本デ尊重スルノミナ
ラズ、世界ニ於テ尊重スル今日ノ矢先ニ、是ノ如キヤウナ事柄ニ向テ汚名ヲ著ルヤウナ
コトガ、甚ダ私ハ遺憾ニ存ゼラレノデア、即チ是ハ善意ノ質問デア、若シ是ガ私
ノ聞クトコロモノガ、即チ他ノ方ニ於テ失策アリトスレバ、陸軍ト云フモノハ、全ク正直ナ
ヤリ方デア、タト云フコトハ、茲ニ明ニ分ルノデア、(モウ宜イ、能ク分リマシタ)ト呼
者アリ)ソレモ五分バカリテ済シマフ(モウ分タヨ)ト呼フ者アリ)君方ノヤウナ
聰明ナ人間ハ、分ルカモ知レヌガ、外ニ分ラヌモノガアルカモ知レヌ(成ルタケ鄭重ニ長ク
ヤデ呉レ給ヘ)又「不聰明ナ人間ハ居ラヌ」、又「其質問演説ハ御濟ミニナツタ
デスカ」ト呼フ者アリ)ソレデ唯今申上ゲタ通りノ——以上申上ゲタヤウナ次第デア
ルガ、私ガ最モ唯今ノ質問シタ中ニ於テ聽カント欲スルトコロモ、ドウデアアルカト云
フ、大倉組ニ拂下ゲタルコトノ糧米以外ニ御尋ネ申シタイト云フコトデア、アルカ
ニ列舉シタモノデア、ソレ故ニ是ハ政府ニ於テ忌憚ナクドコニ障リガアルト云フヤウ
コトナク、明ニ之ヲシテ答ヘラレシコトヲ望ムノデア、如何トナレバ是ハ政務ガ統一ヲ
ヌカラ、是ノ如キ事ガ起ルノデア、政府ガ統一サヘシテ居レバ、僅カ一週間ノ中ニ「ベ
スト」ガ、賣ルコトガ出来ヌト云フコトデア、賣ラヌト云フノデ、其儘アルト云フモ
ノガ、一週間僅カ幾ダバカリノ中ニ、全部賣ラシマツタト云フノハ、何デア、照會スベ
キ答デハナイカ、照會モ出サズシテ、後トハ一週間後ニ賣ラシマツタト云フノハ、何事デ
アル、是ガ甚ダ私ハ不思議ニ存ゼラレ、サウ云フ次第デ、全ク此事柄ヲシテ疑感ノ中
ニ葬ラレテ居タラバ、是ハ政府ノ威信ニモ關係スルコトデア、如何ニ陸軍省ハ大倉
組ト腐縁アリ、惡縁アリトシタコトガ、今日此局ニ當ラレテ居ルトコロノ外松君ハ、ド
ウデアアルカ、令名ノ士デア、其證據ニハ二十七八年ノ後、或人ノ兵站ノヤリ方ト、今
回ノ外松君ノヤリ方ハ、ドウデアアルカト云フナラバ、一ノ醜聲ヲ聞カズ、全ク大ニ此進行
シ、アルノデハナイカ、何事デモ遲滞ナクヤデ居ルデハナイカ、ソレデアアルカシテ功一
ニ缺クト云フコトノ結果ヲ茲ニ見ルト云フコトハ、甚ダ私ハ遺憾ニ思フノデア、第一世
間ニ大ニ信用サレテ居ルトコロノ陸海軍、世間ノ非常ニ尊重シテ居ルトコロノ陸海軍ニ
傷ヲ付ケルト云フコトハ、甚ダ私ハ遺憾ニ存ゼラレ、故ニ善意ノ意思ヲ以テ、善意ノ質
問ヲ致シマス、次第デアリマス、カラシテ、此質問ニ向テハ矢張善意ノ御答ノアルヤウ
願ヒタイノデア、必ズ是ハ自分ハ何カ感情ニ觸レテ以テ、此質問ヲ起スト云フニアラ
シテ、全ク是ハ自身ガ此事柄ハ能ク明カニシテ置カヌト云フ限リハ、吾々ノ職責上相濟
マヌコトデ、諸君ガ之ヲ默々ニ附シテ居ルヤウナコトデア、先ツ斯ウ云フ面倒ナ所
ニハ御出ニナラヌ方ガ宜シイト思フノデ、是デ質問ガ終リマシタガ、トウテ諸君モ唯今ノ通
リノコトデゴザイマス、カラ宜シク……

○望月長夫君 私ハ質問演説ノコトニ付キマシテハ、通告ヲシテ置キマシタガ、發言ヲ

シナイト云フコトヲ一言シタイ
○恆松隆慶君 緊急動議ヲ提出シマス
○望月長夫君 發言ヲシナイト云フコトヲ一言シタイ、私ハ今日樺太島ノ統治問題
並ニ露國ノ人ガ讓與以前ニ得テ居タ漁業權ノ問題ニ付イテ、質問書ヲ提出致シ、併セテ
發言ノ通告ヲ致シテ置キマシタケレドモ、會期切迫ノ際、殊ニ政府ノ回答ヲ速ナラシムル
コトヲ希望スルガため、私ノ演説時間ヲ省略シマス、此問題ハ當ニ政治家ノ問題タル
ノミナラズ、同島ニ向テ將ニ經營セントスル資本家、實業家ガ最モ決定ノ速ナランコト
ヲ希望シテ居ルノデアリマス、政府ハ速ニ決定シテ、答辯セラレシコトヲ望ミマス、此
一言デ質問ノ趣意ヲ明白ニシテ置キマス

○恆松隆慶君 マダ質問書ガ出デ居リマス、ドウデスカ
○花井卓藏君 私も質問書ヲ提出致シテ置キマシタガ、私ノ質問ノ趣意ハ過日質問
シタ緊急動議ニ對スル答辯ヲ得タイト云フノデアリマス、質問演説ハ略シマシテ、茲ニ
此回答ヲ促シテ置キマス

○議長(杉田定一君) 質問演説ハ是デアリマセヌ、何ゾ緊急問題ガアリマス
○恆松隆慶君 質問演説ガゴザイマス、議事進行ノため直チニ日程ニ入りタイト思
ヒマシタガ、モウナケレバソレデ宜シウゴザイマス

○栗原亮一君 豫算委員ノ報告ヲ致シタウゴザイマス
○議長(杉田定一君) 栗原君

○石川清君 市町村長ニ對スル行賞ニ關スル建議案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス
カ……

(栗原亮一君登壇)
○栗原亮一君 此場合ニ於キマシテ、三十九年度追加豫算ハ四ツ出デ居リマス、是
ハ一括シテ報告ヲ致シマス、三十九年度追加豫算ノ第二號ハ、金額ハ六百五十萬圓
餘デアリマス、此財源ハ公債募集金ガ四百萬圓ト、昨日議シマシタコロノ關稅ノ
定率改正ニ據リマシテ、増收入百萬圓、ソレカラ福岡並ニ大阪府ニ於ケル地方河川分
擔金ガ六十萬圓ト、剩餘金ハ十四萬圓等ガ財源トナツタ、茲ニ現ハレタデアリマス、總
豫算ヲ議スルトキニ於キマシテ、陸海軍ニ於ケル臨時事件豫備費中カラ五百萬圓
ヲ削減致シテ、當時豫算委員會ニ於キマシテハ、此五百萬圓ノ金ヲ以テ、生産事業ニ
充テルヤウニト云フノ條件ヲ以テ議決シタデアリマス、彼ノ國本培養ト云フ建議案モ
通過致シテ、是ニハ諸君モ御解釋ニ依ツテハ多ク御希望モアツタコトデアリマス、五
百萬圓ハ現金ヲ削減シタルニアラズシテ、公債ノ募集五百萬圓ヲ減タノデアリマス、
此削減タル金ハ現金ガアツタデアリマセヌカラ、此五百萬圓ヲ費用ニ充テルニハ、公
債募集ニ依ツテナスコトノ事業デナケレバ、是ニ充テル譯ニイカヌ、ソレデ今回現ハレマ
シタ豫算ハ、製鐵所事業費ノ方ハ、是ハ公債ノ支辨トナツテ居ルカラ、事業公債ノ方ノ財
源デ出来ルノデゴザイマス、鐵道改良費百五十萬圓ト云フノモ、是モ公債支辨ニ移
テ居リマス、若シ此現金ガ五百萬圓アリマスレバ、諸君ノ多クノ希望ノ如ク充テラレ
デアリマセウケレドモ、如何セン、是ハ公債ノ財源デアリマス、公債ヲ以テ充テルトコロ
ノ事業ノ他ニハ充テル譯ニイカヌ、合計四百萬圓ハ、公債トシテ現ハレ、其内二百五十
萬圓ヲ製鐵所ニ充テ、鐵道改良費百五十萬圓トナツテ居ルノデアリマス、此國本培養
ノ意味ニ於テ、農業ヲ獎勵スルトカ云フヤウナモノ、其一部分デアリマス、此方ニ充テ
デアリマス、耕地整理改良費ガ二十六萬圓ニナツテ居リマス、是ハ五百萬圓以外
ニ現金ヲ以テセンナラヌ仕事デアリマス、他ノ財源ヨリ是ガ出デ居リマス、今回此追

加豫算ニ上リマシタ中ニ於テ、最モ議論ノヤカマシカッタノハ、遠賀川ノ河川改修費デア
リマシテ、總計四百二十萬圓餘トナッテ居ル、サウシテ三十九年度ニ於テ五十萬圓、事務
費ハ僅カニ二萬七千圓餘デアリマス、此追加豫算ハ元來國本培養ニ關スルコロノ經費
ガ出ルデアラウト思フテ居タノハ、斯ウ云フ河川改修ト云フヤウナコトガ出タ他ニモ段々河
川ニハ計畫中ノモノガアッタノハ、是ノミガ此處ニ出タノハ甚ダ不穩當デアリ、國本培養
ナルモノハ是ノ如キコトハ意味シテ居ラヌト云フ議論ガアリマシタ、併シ此遠賀川ノ改
修費ト云フモノハ、三十九年度ニ五十萬圓——合セテ百二十萬圓ガ地方分擔納附
金デアリマスカラ、詰リ此豫算ニ上セマシタコロノ遠賀川五十萬圓ト云フモノハ、是ハ
地方ノ分擔金ニナッテ居リマシテ、尙來年度ニナッテモ、地方負擔金デアリマスカラ、コ
ノ二年間ハ地方ノ負擔金デアリマス、國庫カラ此事務費ノ他ハ更ニ出ナイト云
フコトデアリマス、サスレバ五百萬圓ヲ削減シテ財源ハ、毫モ關係ヲ持テ居ラヌト云フコ
トガ、審查ノ結果明カニナッテデアリマス、ツレカラ又種々科目ガアリマスガ、是ハ緊急
必要ナル經費、或ハ又法律ノ結果ヨリ出サナケレバナラヌ經費デ、必シモ國本培養ノコ
トノミナラヌ、其他政府トシテ出サナケレバナラヌモノガ、種々出テ居ルデアリマス、其内
テ著シキモノハ東北三縣ノ凶作地ニ貸付金三十萬圓ガアル、是ハ今日ノ場合ニ於キマ
シテハ、町村ノ教育事業ノ如キモ、マルテ廢シテ居ルト云フ有様デアリマスカラ、之ヲ維
持スルガためニ、八箇年ノ契約ヲ致シテ貸付ケルト云フコトデアリマス、是ハ其說明書ニ
最初ハ利子が見積ラレテアリマシタケレドモ、斯ウ云フ救済ノ事業デアリマス、國家トシテ
利子マデ取ルト云フコトハ穩當デアリマシタ、利子ハ取ラヌ方ガ宜カラウト委員會デア
ハ話シナッテデアリマス、ツレカラシテ製鐵所二百五十萬圓、鐵道改良費五百五十萬
圓、之ニ對シテモ委員會ニ於キマシテ、反對ノ議論ガ出デ、其反對論ノ要旨ハ、既ニ製
鐵所ノ鐵道改良費モ三十九年度總豫算ニ於テ、ツレノ政府ガ要求シテ、要求通り
協賛シタモノデアリマスカラ、今日此場合尙増ス必要ハナイト云フ、大體論デアリマシタ、
是ハイツレ本議會ニモ反對論ガ現レマセウガ、要スルニ此追加豫算ニ於キマシテハ、製
鐵所、鐵道改良費、遠賀川、此三ツニ付キマシテ議論ガアリマシタケレドモ、遂ニ委員
會ノ多數ハ之ヲ可決スベキモノト決シタデアリマス、特第一號ノ公債募集金四百萬圓
ト云フノハ、之ハ今申シタ製鐵所ノ二百五十萬圓、鐵道改良費五百五十萬圓合セテ、
四百萬圓ノ公債募集ヲスル特別會計豫算デアリマス、追第三號豫算外國庫負擔契約
ノ議案ガ現レテ居リマス、之ハ公使館ヲ大使館ニ改メ、又「カルカッタ」及廣東ニ領事館
ヲ新ニ設ケルためニ、家屋ノ借料デアリマス、是ガ不足デアルカラシテ、四萬五千三百圓ノ
追加豫算デアリマシテ、是ガ契約トナルデアリマス、モウ一ツハ長崎稅關ノ假置場ノ地
區ガ狹イカラ、之ヲ擴張スルためニ地所ヲ借上ケルト云フノ代金デアリマシテ、是ガ毎年
四萬三千二百十圓デアッテ、四十年間以テ降十九年間ノ契約ヲナスモノデアリマス、稅
關モ段々擴張サレテデアリマスカラ、必要ナモノト認メテ可決ヲ致シタデアリマス、第
三號ノ三十九年度ノ追加豫算、是ハ金額ハ二十一萬七千圓餘デアリマシテ、其歲入
ハ前年度ノ剩餘金デアリマス、是ハ鹿兒島縣大島ノ傳染病研究所出張所ノ事務費デ
アル、或ハ大島ノ島廳ガ火災ニ罹ラセタカラ、復舊工事ヲ爲スガ如キモノデアリ、是亦已ム
ヲ得ヌ經費デアリマス、其他廢兵院ノためニ要スル經費、ツレカラ羽二重精練法ト云
フ法律ガ成立シマシタカラ、此二ツハ法律ノ結果デアリマシテ、是モ議論ノナイコトデア
ル、詰リ追加豫算案ハ此四冊共ニ委員會多數ニ於キマシテハ、總テ原案ノ通り可決ヲ
致シタデアリマス、尙此場合ニ於キマシテ、本案ヲ議スル爲ニ日程變更ノ緊急動議ヲ
提出シテ置キマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 栗原君ノ發議ノ通り、此際日程ヲ變更ヲシテ豫算案ヲ議ス
ルト云フニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス、日程ハ變更セラレマシタ、是ヨリ豫算
案ヲ議スルコトニ相成リマシタ、先ツ明治三十九年度歲入歲出總豫算追加案ヲ議題
ト致シマス

明治三十九年度歲入歲出總豫算追加

〔全部異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○大戸復三郎君 議長

○議長(杉田定一君) 大戸君何デス
○大戸復三郎君 反對ノ通告ヲ致シテ置キマシタ
〔異議ナシ〕又「採決々々」ト呼フ者アリ

〔反對者ガアレハ何時デモ述ベシ、少數否決トナリマス〕ト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス
○大戸復三郎君 反對ノ通告ヲシデアリマス
○議長(杉田定一君) 其場合ニナッテラヤリマス——歲出經常部ノ全部ヲ議題ト致
シマス

〔贊成々々〕異議ナシト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 是ハ別段修正モ何モアリマセヌ、原案ニ御異議ハゴザイマセヌ
カ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 原案ニ可決致シマシタ——臨時部第三款外務省所管ノ全
部ヲ議題ト致シマス、是モ別ニ修正モ何モアリマセヌ、原案ニ異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 原案ニ可決シマシタ、次ニ內務省所管ヲ議題ト致シマス——
大戸復三郎君

〔大戸復三郎君登壇〕
○大戸復三郎君 諸君、本員ハ此內務省所管ノ第二款土木事業費ノ第十五項、
遠賀川改修費ノ五十萬圓ヲ削除シタイト云フ意見デアリマス、成ルベク簡單ニ述ベマス、
併シ多少ノ理由ヲ述ベマセヌト、其趣意ガ分リマセヌカラ、暫ク御靜聽ヲ願ヒマス、私ハ
此我國ニ於テ、治水ト云フコトハ最も必要デアルト云フコトヲ豫テ認メテ居ル一人デアリ
マス、ツレニモ拘ハラヌ又、既ニ此大勢ノ定テ居リマスニモ拘ラス、私が是ニ反對ヲ致
シマスルト云フコトハ、誠ニ自分ニ取リマシテモ遺憾トスル次第デアリマス、抑此議會デ
モ此治水ノ必要ト云フコトハ、認メラレマシテ、度々建議ニモナリマシテ出テオリマス、又
政府ニ於テカレマシテモ治水ノ必要ヲ認メラレマシテ、曩ニ毎年三百萬圓ト云フモノヲ定
額ヲシテ、治水費ニ充テ、出サレタ次第デアリマス(發言スルモノアリ)暫ク御聽ヲ願ヒマ
ス、サウ長ウハ云ヒマセヌ、餘リ御妨ケナイヤウニ願ヒマス(「妨害スルナ」ト呼フ者アリ)

然ルニ日露戰爭ノためニデス、治水工事ヲ或ハ繰延ベトナリ、或ハ中止セラレテ居ルコト
ハ、誠ニ已ムヲ得ザル次第デアリマス、既ニ先達モ治水ノ建議案ガ出マシテ、ドウカ此三
百萬圓ト云フモノヲ復舊ヲシテ、サウシテヤッテ貫ヒタイト云フコトノ建議ガ、既ニ先達モ

出テ居ル答アリマス、所デ是マデ政府ガ調査ヲ遂ゲマシテ、サウシテ既ニ工事ニ著手ヲシテ居ルコロノ川、又未ダ著手ハ致シテ居リマセヌケレドモ、最モ必要ナリト致シテ居ルコロノ川ハ、木曾川、淀川、利根川、信濃川、吉野川、高梁川ト云フ如キ大河川ガゴザイマス、其中ニ付キマシテ高梁川、信濃川、吉野川ト云フモノ、改修費ハ、政府ハ是マデ二回同議會ニ提出シ掛ケタノデアアル、所ガ議會ノ解散ヲ致シマシタメニ、遂ニ是ハ決議ニ至ラズシテ止シテ居ルコト云フコトヲ本員ハ承知シテ居リマス、又聞クトコロニ依リマスレバ、三十九年度豫算ヲ編成セラル、場合モ、矢張木曾川ト一緒ニ高梁川、信濃川、吉野川、此三大川モ合セテ豫算ニ出サレル内務省ノ御意見デアッタサウデアアル、如何セン財政ガ是ヲ許サナカッタカラシテ、遂ニ又三十九年度ニ於テ、此提出ヲ見ルコトハ出來ナカッタ次第デアリマス、然ルニデス、何ゾ計ラン、追加豫算ニ於キマシテ如何ニモ必要デハゴザイマセウケレドモ、是ノ如ク政府ガ必要ヲ認メテ、一回三回モ提出センシタモノヲ差指イテ、遠賀川ヲ提出シタト云フコトハ、私ハ其處置順序ニ至ラデ、ドウシテモ同意ガ出來ヌト云フ所以デアリマス（ヒヤ／＼）ト呼フ者アリ）是ハ決シテ私ハ是ノ如キ事柄ハ、區々タル一地方ニ拘泥スル問題デハナイト思フ、又吾ミハ川ト云フモノニ付イテ、自分一個ノ利害ヲ有シテ居ルノデハナイケレドモ、是ノ如キモノハ（岡山縣ニハ川ガナイカラ）「妨害スルナ」ト呼フ者アリ、笑聲起ル）全國ニ涉ラサウシテ其利害ヲ被害ノ程度ヲ比較調査シテ、空シク是ガ緩急順序ヲ極メテ、十分ナル計畫ヲ立テラレタイト思フノデアアル、即チ希望スルコトハ來ル四十年年度ニ於テ、政府ハ全般ノ治水ニ涉ラデ、緩急順序ヲ定メ、財政ノ許ス範圍ニ於テ、提出ヲシテ貫ヒタイト云フノガ、自分ノ希望スルコトデアリマス、私ハ遠賀川ノ改修ヲ決シテ必要ト云フノデアアリマセヌ、即チ石炭ノ關係上、如何ニモ必要デアリマセウ、必要デアリマセウガ、右私ガ述べマシタ如ク、大河川ヲ措イテ、遠賀川ヲヤラナケレバナラナイト云フ、必要ハ認メナイノデアアル、寧ろ大河川ヲ先キニヤラナケレバナラヌト云フ必要ヲ認メテ居ルノデアアル、或ハ言フデアリマセウ、此遠賀川ノ改修ヲシナイト云フト、炭價ニ非常ノ影響スル、又昨年ノ水害ノタメニ、非常ニ炭價ニ影響ヲシタノデアアル、此改修ヲシナケレバ、一般ノ産業ニ非常ノ妨害ヲスルコト云フコトハ、一ツノ理由デゴザイマス、私モ此理由ハ首肯スルノデアリマス、不同意ハ唱ヘナイノデアリマス、併ナガラ此事ハ諸君ト共ニ能ク研究ヲシナケレバナラヌノハ、此遠賀川ノ關係ハ、ドノ位ノ關係ヲ持テ居ルカ、私モ遠賀川ニ往ッタコトガアルガ、至ッテ流域ノ狹イ所デ、鞍手郡、嘉麻郡ト云フ、先ヅ二郡ニ亘ッテ居ルノデアリマス、サウシテ此兩岸ニゴザイマスコトコロノ炭礦ハ、相當ナモノデアリマセウガ、併ナガラ筑豐四郡ヲ以テ見レバ、數百中ノ先ヅ幾分ニ當ルデアリマセウガ、決シテ其大部ヲ占メテ居ルモノハナイト信ジマス、サウ致シマシテ昨年浸水致シマシタ箇所ハ、何箇所デアアルカト云ヘバ、炭坑僅ニ十一箇所デアリマス、大小合セテ數百ノ炭坑ノ中デ、浸水シタルモノハ十一箇所ト云フコトヲ承テ居ル、成程炭坑ニハ不利益デアッタデアリマセウガ、ソレガタメニ一般ノ炭價ニ影響ヲ及ボシタト云フコトハ、幾分ノ影響ハアラウガ、大ナル影響ヲ受ケタト云フコトハ、誤リデアラウト思フ、ソレハ昨年ノ春ハ數十年稀ナル雨量デアデ、筑豐ニ於ケル炭坑ハ、許多浸水シタノデアアル、遠賀川ノタメニ浸水シタノハ、十一箇所デアリマス、ソコデ一般ノ採掘ニ不利ヲ來シタノト、一ハ需用ト云フモノガ、昨年ハ

船ノ噸數バカリデモ、四十萬噸増加致シテ居リマス、ソレニ近來ハ紡績其外ノ工業ガ、非常ニ隆盛トナリマシタガタメニ、石炭ノ需用ガ著シク増シタカラ、是ノタメニ石炭ノ價ガ騰貴致シタノデアリマス、然ラバ唯遠賀川ト云フモノハ——石炭ガ暴騰シテ、一般ノ産業ニ非常ナル妨害ヲ與ヘタト云フコトハ、唯遠賀川ノ一川ヲ以テ認ムルコトハ出來ヌノデアリマス、恐ク私ノ申上ケタコトハ、間違ヒハナイト信ジマス、然ルニ唯今申上ケタ他ノ利根川デアルトカ、高梁川デアルトカ、吉野川デアルトカ云フ如キハ、ドウデゴザイマス、一朝洪水ガ氾濫致シマスルト、其被害ト云フモノハ、或ハ數百萬圓、數千萬圓ニ及ブトコロノ被害デアリマス、加之許多ノ人命ヲ損シテ居ルコトハ、是迄諸君ノ親シク見テ居ルトコロデアリマス、決シテ被害ノ程度ニ於テ、區々タル一地方ノ僅ニ利害ノアルコロノ遠賀川ノ比デハナイト信ジテ居ルノデアリマス、然ニ政府ノ理由トスルトコロハ、地方ノ納付金ガアル、納付金ガアルガ故ニ之ヲ提出シテモ、國庫ガ負擔スルトコロハ、僅カノモノデアルト云フ、是ハ蓋シ理ニハナラヌト思フ、納付金ト云フモノハ是ハドコマデモ三分ノ一ノ納付金ト云フモノハ、何レモスルノデアアル、唯三十九年度、四十年年度ニ於テ、比較的多イト云フニ過ギヌノデアリマス、是ヲ以テ一國ノ治水ヲ斷定スル上ニ、一年ノ納付金ガ多イト云フコトヲ以テ、他ニ是ヨリモ數倍モ優タタコロノ河川ヲ抛ッテ置クト云フ理由ニハナラヌト思フノデアリマス、加之大藏大臣ハ豫算總會ニ於テ、如何ナル説明ガアリマシタカ、或人ノ質問ニ對シテ答ヘラレタニハ——或人ハ治水費ノ三百萬圓ト云フモノヲ復舊シテ、四十年以降ニ於テ出シテ償ヒタイト云フ質問ニ對シテ、大藏大臣ハ答辯シテ曰ク、ソレハ如何ニモ必要デアルガ、財政ト云フモノ、上カラ極メナケレバナラヌ問題デアルカラ、何トモ今日カラ言フコトハ出來ヌト云フコトデアリマシタガ、是ハ尤モデアリマス、又全般ノ財政計畫ノ立タヌ中ニ、是ヲ定メルコトハ出來ヌデアリマセウ、果シテサウデゴザイマスナラバ、此遠賀川十箇年繼續工業ハドウデゴザイマセウ、果シテ是ガ停滯ナク繼續シテ往ケルト云フ見込ガ立ッテデアリマセウカ、凡ソ地水ノ事柄ハ諸君如何ニ御考ヘナリマスカ、日露戰役ノ如キ、非常ノ場合ヲ除ク外ハ（簡單々々）「聲起ル」折角著手シタ事柄モ、一朝洪水氾濫ノタメニ、元ノ至阿彌ニナル譯デアリマセウカ、然ラバ將來ノコトハ財政ノ上カラ觀察シテ、緩急順序ヲ定メテ、全般ニ涉ッテ計畫ヲ定メルデアレバ、決シテ是ノ如キモノヲ輕々ニ斷定スルモノデアナイト云フコトヲ信ズルノデアリマス、故ニ私ハ決シテ遠賀川其者ヲ必要トスルニアラズ、又或人ハ燒餅ヲ燒クノダナド、云フ人ガアルガ、是ハ間違ッテ居ル、何モ燒餅ヲ燒ク答ヘナイ、是ハ苟モ御同様ニ職務ヲ持ッテ居ル以上ハ、全般ニ著目ヲシナケレバナラヌ、區々タル一地方ノ問題デアリマセヌ、故ニ吾ミノ如キハ決シテ燒餅ナドト云フ如キ、左様ナ愚ナ考ヲ持ッテ居ルモノデアリマセヌ、故ニ已ムナク私ハ此三十九年度ニ於テハ、遠賀川改修費五十萬圓ト、之ニ伴フトコロノ二萬七千五百九圓、詰リ其結果トシテ歲入ノ部ニ於テ、遠賀川地方分擔納付金五十萬圓ヲ併セテ、唯今申シタトコロノ通り、遺憾ナガラ此場合削除シテ、幸ニ四十年年度ニ財政ノ許ス以上ハ、他ノ河川ト同時ニ宜シク之ハ計畫ヲ立テ、提出シテ償ヒタイト云フ意見デアリマスカラ、ドウカ諸君ハ冷静慎重ニ、區々タル地方ノ感情ヲ持タズニ、私ノ意見ニ御賛成アラント希望シマス

○森本駿君 大戸君ニ質問シマス、アナタハ今歲入ヲ削レト仰シヤルケレドモ、滿場一致致、アナタモ異議ヲ言ズ、歲入ヲ決議シテ置イテ、サウシテ尙歲入ヲ削レト云フコトハ分

ラナイ、ソレノミナラズ、二万六千圓ノ事務費ヲ創ラウト云フコトデアルガ、事務費ヲ削ッテ、澱川改修ニ關係スルモノマデモ御削リニナル積リデスカドウデス

○大戸復三郎君 私ハ知リマセヌ

○森本駿君 知ラズシテ言フハ不明デアル

（佐々木正藏君登壇）

○佐々木正藏君 唯今大戸君ヨリ此河川改修費ニ付イテ、反對演説が出マシタニ依ッテ、私ハ簡單ニ賛成ノ理由ヲ述ベヤウト思ヒマス、大戸君ノ反對ノ御演説ハ半ハ、吾々ガ賛成スルコトコロノ理由ト同ジ賛成演説デアル、後段ニ至ッテ反對ト云フ意味ニナツテ、其意味カラ申シマスレバ、サウ強イ反對デハナイノデアリマス、治水ノ全體ニ付イテハ誠ニ同感デアル、必要デアル、併シ本年度ニ僅カノ川ヲ出シタカラ、反對デアルト云フコトハ、大體ノ方針カラ申セバ、矢張僅カノ川デモ之ヲ進行スル上ニ付イテハ、一分ノ進歩デアリマスカラシテ、大體ニ於テ反對ハサレヌ理窟デアル、政府ノ處置ニ於テ反對デアルト云フコトヲ言ハレルナラバ、吾々モ此點ニ付イテハ同感デアル、實ハ當院ヨリ建議致シタル通り、今調査ノ成ッテ居ルハ六ツノ川ヲ同時ニ出サレタイト云フノガ、吾々ノ希望デアル、ソレヲ政府ハ僅カニ二河川ヲ出シタト云フコトハ、誠ニ大戸君ト同感デ、遺憾千萬デアル、政府ハ實ニ此治水ノ大問題ニ付イテ、其執ルトコロノ方針ガ、甚ダ冷淡デアル、建議書ヲ提出シタ當時ニモ述ベマス如ク、年々歳々六百人ノ人ヲ殺シ、四千万圓ノ財産ヲ水ニ流シテ居ルコトアレバ、此治水ノ事業ハ最モ重大事件トシテ、政府ハ此建議ノ趣意ヲ採ッテ、實ハ本年度ニ六河川共出スベキ筈ヲ、二河川出シタカラ、斯ノ如キ反對ノ説モ聽クコトデアル、實ニ政府ノ措置ニ於テハ、甚ダ遺憾デアル、併シ是ハ豫算會等ガ質問ヲ致シテ確メテ見マス、明年度ニ於テハ成ルベク此建議ノ趣意ヲ採リ、十分力メルト云フコトヲ明言シテ居リマスカラ、之ニ信ヲ措クヨリ外ニ仕方ハナイノデアアル、遠賀川ノ實質ヲ大戸君ハマダ御承知ナイコト、思ヒマスカラ、之ニ付イテ私ハ一二辯明ヲ致サウト思フ、遠賀川ハ昨年ノ洪水ニ依ッテ俄ニ思立ッテ、本年ノ問題ニ飛込シテ來タヤウニ御説明ニナルヤウデアリマスケレドモ、決シテ左様デハナイ、矢張遠賀川モ我國ノ一大河川デアリマス、一大河川デアルト云フコトハ、第九議會デ、丁度日清戰役後、所謂戰後ノ經營トシテ、丁度今日ト同ジコトデ、國力ノ發展ト云フコトガ、最モ必要デアル、故ニ生産事業ヲ進メナケレバナラヌト云フ説カラ、第九議會ノ戰後經營ノ議會ニ於テ、治水ノ建議案が出タノデアアル、其當時彼ノ澱川、木曾川、千曲川ハ二十九年度ヨリ著手スルコトヲ建議シタルデアアル、之ニ附帶シテ二十年度ヨリ著手スベキ川ヲ舉グテ、十二河川ヲ列記シテ建議致シタ、其十二河川ハ利根川、九頭龍川、高梁川、遠賀川、斐伊川、雄物川等ノ川デアル、即チ十二河川ヲ二十年度ヨリ順次著手シテ、之ヲ進行セヨト云フコトヲ建議書ニ明記シタルデアアル、ソレヲ第九議會即チ二十九年頃カラ遠賀川ハ我國ノ一河川トシテ、其數ニ入ッテ居ルノデアリマス、其後遠賀川ヲ改修スルコトヲ設計ヲ土木監督署デシタルデアアル、併ナガラ其設計ハ今度ノ設計ト多少違ッテ、運河ヲ目的トスル、即チ舟楫ノ便ヲ良クスルコトヲ設計トシ、洪水ノ除害工事ト兩方ヤルト云フコトニナラデ居タ、其設計ニ依ルト今度提出サレタコトノ計畫ヨリモ、餘程計畫ガ大キイノデアアル、即チ舟楫ノ便ト、除害工事ト兩度併セテヤルト云フコ

トデアリマスカラ、金額モ多イノデアアル、此舟楫ノ便ト云フコトニ付イテハ、我國デモ手始めノコトデアアルカラシテ、外國ニ技師マデモ派遣シテ、サウシテ取調ベテ、此遠賀川ノ設計ヲヤッテ事實ガアルノデアリマス、ソレヲ俄ニ昨年ノ洪水ニ驚イテ、本年此遠賀川ガ飛込シテ來タト云フヤウニ御考ニナルノハ、甚ダ間違ヒデアル、又外ノ大河川ニ比シテ、遠賀川ノ方ガ害ハ少ナイ、成程大小ト云フ上カラ申セバ、流域其他ヨリ見レバ、遠賀川ヨリ大キイ川ハ澤山アルノデアアル、又害ノ多少ト云フコトニ付イテモ、或ハ其以上ニ上ルノガアルカモ知レマセヌケレドモ、政府ノ取調ベテ說明スルコトコロ又吾々ガ實地目撃スルトコロカラ見レバ、此川ハ全國ノ河川ノ大キイ方カラ云ヘバ、一二二位スル川ニ相違ナイノデアリマス、第一此石炭ノ關係ト云フコトニ付イテハ、大戸君ハ自分ハ實地ヲ知ッテ居ッテ、遠賀川ノ沿岸ニアルモノハ、僅ニタルモノデアアルト言ハレル、サウシテ炭坑地方ハ、大戸君ハ二郡ニ跨ッテ居ルト言ハレルケレドモ、サウデナイ、四郡ニ跨ッテ居ル、遠賀、鞍手、嘉穂、田川、是ハ二郡デハナイ、確カニ四郡デアリマス、又此被害ノ土地ハ四郡ニ跨ッテ居ルノデアリマス、サウシテ直接ニ浸水スル所ノ炭坑ト云フモノハ、其半バ以下デアリマセウ、併ナガラ彼ノ地ヲ御承知ニナッテ居ルトスレバ、實ハマ少シ御分リニナッテ居ル積リデアリマスガ、水害ト云フコトニナッテ、總テノ堤防ガ破壊シテ、水ガ汎濫スルト云フコトニナリマス、第一總テノ交通ヲ遮斷スル、鐵道モ、其他ノ道路モ、之ヲ破壊シテシマツテ、數十日、數箇月間交通ト云フモノガ出來ナイヤウニナル、況ヤ此多數ノ炭坑ノ材料置場デス、材料置場ハ何レニアルカト云フト、皆平坦地ニアル、必要ナル材料ヲ平坦地ニ倉庫ナカヲ建テ、置イテアルノデアアル、ソレヲ荒ラサレルト云フコトニナレバ、是亦炭坑全般ニ關係スルト云フ事實ガ現ハレテ來ルノデアリマス、ソレ故ニ一朝水害ガアレバ、此四郡ノ炭山總テニ影響ヲ來シテ、成程其炭坑ニ直接浸水ヲシタノト、間接ニ今ノヤウニ害ヲ受ケタノトノ差ハアリマスケレドモ、其害ノ及ブトコロハ、全般ニ互ルノデアアル、ソレ故ニ忽チ炭價ガ騰貴スル、炭價ガ騰貴スレバ、申スマデモナク廣イ各工場其他ニ大變ナ害ヲ及ボスト云フコトデアアルコトハ、申スマデモナイコトデアリマス、此關係ガ即チ他ノ河川ハイザレ害ガ多イニ相違ナイケレドモ、ソレ以上ニ特ニ害ノアルト云フコトハ、此遠賀川ト云フモノハ、特殊ニナルト私ハ心得ルノデアリマス、ソレカラ此製鐵所ノ關係、是ハ成程深イ關係ハアリマス、併ナガラ製鐵所ニ肝要ナルトコロノ水ヲ引クト云フコトニナリマスレバ、遠賀川ノ改修ト云フコトノ其設計ガ、確定セヌ限リハ、遠賀川ヨリ水ヲ引クトシテモ、或ハ其改修デ、河ノ形ヲ變ヘルト云フコトニナレバ、再ヒ現在ノ河ニ依ッテ、其水道計畫ヲスレバ、又多年後ニハ矢張之ヲ仕直サネナラヌト云フ面倒ガ起ルカモ知レヌト云フコトハ、是ハ確カナル事實デアアルノデアアル、ソレカラ一ツハ矢張政府ハ負擔力ト云フコトモ見タト云フコト、此負擔力ト云フコトハ矢張二箇年若クハ三箇年位分擔金ヲ地方ガ負擔シテ、其負擔力ハ如何ナル標準ニ依ッテ申シマス、縣債ヲ起サズシテ負擔ガ出來ル、例ヘバ五十萬圓ヲ二箇年、或ハ其後モ二十萬圓バカリ負擔スルト云フコトデアアルガ、ソレヲ縣債ヲ起サヌ範圍デ、負擔ガ出來ルカ否ヤト云フコトヲ見テ、福岡縣ハ矢張比較的縣ガ大キイカラ、今日ト雖モ五十萬圓位ノモノハ、縣債ヲ起サズシテ負擔ガ出來ル、凡ソ此三ツノ要點カラシテ、遠賀川ヲ先ニ拔イテヤツタト云フコトデアリマス、政府ノ處置モ大體ノ上カラハ、甚ダ遺憾デアルケレドモ、此點ニ付イテハ吾々ハ參考スヘキ相當

ノ理由デアラウト信ズルノデアリマス(簡單ト呼フ者アリ)ツレデ大體ノコトハ御分リニ
ナタト思フデアリマス(モウ宜カラウト呼フ者アリ)本年度ニ總テノ河川ヲ出サナカ
タト云フコトハ遺憾デアル、ケレドモ大體ノ上カラ申シマスレバ、調査設計ノ成テ居ル
ガ、六ツアル中デ、二ツ本年度ニ片付ケタトスレバ、後トハ四ツニナルノデ、即チ二分
一ノ進行ハ確カニ此豫算ニ依ツテ進ムト云フコトデアレバ、治水ノ大體カラ申シマスレバ、
矢張一部ノ進歩デアリマスカラ、之ヲ贊成スルガ、至當ト私ハ考ヘテ、即チ贊成ヲ致シ
タノデアリマス(採決ト呼フ者アリ)來年度ニ於テハ矢張大藏大臣モ明言サレテ居ル
通り、必ズ建議ノ趣意ヲ採テ、調査設計ノ出來テ居ル河ハ、務メテ之ヲ計畫スルト云
フコトデアリマスカラ、之ヲ信ジテ、私ハ本案ヲ贊成致スノデアリマス

〔採決〕討論ハ終結ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、先ヅ内務省所管ニ付イテ此第二款ニ反對
ガアルノデアリマスノデ、第二款ニ付イテ採決ヲ致シマス、中ニ澱川改修費ト云フ
ハ、是ニハ反對ガナイノデアリマス、ツレデ澱川改修費ヲ除イテ、サウシテ採決ヲ致シマ
ス、即チ第二款ノ澱川改修費ヲ除イテ、其他原案ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者

〔違ヒマス〕ト呼フ者アリ、又「モウ少シハッキリト呼フ者アリ」

○議長(杉田定一君) 原案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、原案ニ決シマシタ、今度ハ内務省所管ニ於
テハ別ニ反對ガナイノデアリマス、他ハ内務省所管ノ全體、他ノ部ニ於テ原案ニ御異議
ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 原案ニ御異議ハナイト認メマス、原案ニ決シマシタ

〔アト一括〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 大藏省、海軍省、文部省、此三者ニハ別段反對ガアリマセ
ヌ、原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 原案ニ決セラレマシタ、農商務省所管全部ヲ議題ト致シマス、
南條吉左衛門君

〔南條吉左衛門君登壇〕

〔反對ノ勇氣感心ナシ〕ト呼フ者アリ

○南條吉左衛門君 小生ハ農商務省所管、即チ第二款ノ製鐵所二百五十万圓ヲ
削除スル、斯ウ云フ考ヲ持テ居ルモノデゴザイマス(矢張公債ヲ募ルデスカ、決シマシタ
ゼ)ト呼フ者アリ)先ヅ暫ク御聽キナサイ、是ハ一體糞ニ一般豫算ヲ讀スル頃、五百万
圓削除シタ、其結果トシテ現ハレタモノニ外ナラヌノデアル、彼五百萬圓ヲ削除シタ趣
旨ト云フモノハ、決シテ斯ウ云フ製鐵所ト云フヤウナ費額ニ充テヤウト云フ目的ヲ以テ、
削減シタコトデナイト云フノハ、多數諸君ハ其御考デアラウト私ハ思フ(然リク「ノ
ウ」ト呼フ者アリ)此事柄ハ一體直接民業ノ發達ニ益アルモノ(製産事業ト云フ

タンダト呼フ者アリ)是ノ如キ官營ノ事業ニ用井ヤウト云フ考ヲ以テ、彼ノ五百萬圓ヲ
削除シタノハナインノデアル、如何トナレバ此製鐵所ノ如キモノハ、其目的ニ於テハ本員モ
大賛成デアアル、目的ニ於テハ大賛成デアルケレドモ、元來此追加豫算ノ是ハ、本院ノ希
望ニ副ハナイトコロノモノデゴザイマス、(成程)ト呼フ者アリ)本院ニ於テ糞ニ望シ
ノハ、專ラ彼ノ民間直接ノ生産事業即チ國本培養ト云フモノニ適切ニ當ルト云フモノ
此費用ヲ使ヒタイ、斯ウ云フ考ヲ以テ五百萬圓削減シタノデアル、然ルニモ拘ハラズ此
製鐵所事業ハ是ヲ充テタト云フコトハ、甚ダ其意ヲ得ナイ話デアラウト思フ、元來此製
鐵所ノ費用ニ於テモ、本年殆ド二百萬圓ニ達スルトコロノ經費ヲ本院ハ決議シテ居ル、
即チ政府ノ要求額其儘確定シテ居ル、決定シテ居ル、而シテ此二百五十萬圓ノ
金ハ、御承知ノ如ク決シテ此二百五十萬圓ヲ以テ目的ヲ完成スルモノデハナイ、其大
體ニ於テハ一千八百八十萬圓ノ金ヲ以テ爲スベキトコロノ大事業デアアル、此大事業
ヲ爲スニ、此處ニ於テ此追加豫算ヲ以テ茲ニ決議スル必要ハナインノデアリマス、是
ノ如キ製鐵所ト云フヤウナモノハ、豫テ一般豫算ノ會等ニ於テ、總理大臣ノ述べラレタ
滿韓經營其他ノ事業、戰後經營ノ大方針ニ則ツテ、彼此比較シテ緩急ヲ計ツテ、提出
スベキモノデアアル、此會期切迫ノトキニ當リ、加フルニ前決議致シマシタ精神ニ反シテ、
是ノ如キ費途ニ之ヲ充テルト云フコトハ、甚ダ吾々ノ取ラザルトコロデアアル、故ニ此製鐵
所ト云フ目的ノ上ニ付イテハ、將來大ニ擴張スベシト云フコトニハ、同意ヲシテ居ルノデ
アル、同意ヲシテ居ルガ、此追加豫算ニ於テ、之ヲ決議スルト云フコトハ、私共ハドウアッ
テモ、ナラヌコトデアラウト思ヒマスカラ、一言前一般豫算ノトキヨリ引續イテノ目的ヲ述
ベテ、本案ニ反對スル理由デアリマス

〔採決々々〕ト呼フ者アリ

〔荻野芳藏君登壇〕

○荻野芳藏君 我ハ簡單ニ——唯今南條君ハ此製鐵所ノ擴張ニ付キマシテ、反對ノ
御演說ガゴザイマシタ、是ニ付キマシテ私モ豫算委員ノ一人ト致シマシテ、此贊成ノ意
思ヲ明カニシテ置キタイト思フノデアリマス、唯今南條君ノ御說ニ依リマス、陸軍
及海軍ノ經費ヲ割イテ、五百萬圓ト云フモノヲ生産的ノ事業ヲ繰替ハスルト云フコトニ
付イテハ、是ノ如ク其製鐵所ノ如キモノニ遣ルト云フ考デナイト云フコトデゴザイマシタ
然ルニ私ノ考デハ此五百萬圓ノモノヲ當欲メル上リ於キマシテ、製鐵所ノ如キモノヲ措イ
テ、他ニ餘計ナイデアラウト思フノデアアル、最モ是ハ其中デモ重モナルモノデアルト考ヘルノデ
ゴザイマス、此點ニ於テ全然南條君ノ意見トハ違フノデアリマス、ツレニ付キマシタ簡單
ニ貴重ナ時間デゴザイマスカラ、趣意ヲ述ベテ置キタイト思ヒマスガ、諸君モ御承知ノ通
リ、鐵ハモウ文明ノ要素デアッテ、此鐵ノ製造事業ト云フモノガ、一般ニ此軍備ナリ或ハ
生産ノ上ニ於テ、必要ナト云フコトハ、是ハ申スマデモナイコトデアリマス、而シテ今般擴
張ヲ致シマシタト云フ點ニ付キマシテノ概略ノ理由ハ、茲ニ私共述べル必要ハアリマセヌ
ガザット申述ベマスレバ、唯今現在ニ於テ日本ニ向テ鐵ノ此海外カラ輸入シテ居ルトコ
ロノ高、又日本ニ於テ鐵ノ需用高ト云フモノハ(簡單々々)「無用々々」ト呼フ者アリ
議場騒然タリ)ツレデハ極ク簡單ニ更ニ變ヘテ申シマス——今二十二萬噸ノ需用ニ
對シマシテ、此日本ノ製鐵所デハ九萬噸ノモノヨリ外出來ナイノデアリマス、故ニ其他
ノモノハ海外ヨリ輸入シテ居ルノデアリマスカラ、其輸入シテ居ルトコロノ鐵ヲ防グト云フ

事柄ハ、金貨ノ流出ニ對シテ、之ヲ防グト云フコトハ、甚ダ國家ノタメニ目下必要ナルコトアリマス。ト云フガイマス、ソレカラ今又南條君ハ左様ナレバ其事ハ宜シイ——宜シイガ、今之ヲ急ニスルト云フ必要ハナイト云フコトアリマス。ケレドモ、一體此製鐵所ノ事業ノ如キモノハ、之ヲ完成致シマスノニハ、相當ノ準備計畫ヲ要スルノアリマシテ、即チ明年要ルカラト云フテ、直ニ明年間ニ合フモノデハナイノアリマス、職工ノ熟練トカ、或ハ各種ノ建設ヲ致シテ、サウシテ各種ノ準備ノ整タ後デナケレバ、間ニ合ハヌノアリマス、然ルニ一面ニ於テハ是カラ滿韓ニ於テ鐵道計畫モアリ、或ハ内地ニ於テ、工業ノ發達モアリマシテ、鐵ノ需用ト云フモノハ、日々刻々ニ其需用ヲ喚起シテ居ルノデガイマス、斯ウ云フ場合デガイマス。カ、明年ニ於テ俄ニサア遺ルト云フコトコロデ、ソレハ俄ニ間ニ合フモノデナイカラ、今日カラ早ク遺ルト云フコトハ、是ハ一番必要ノコトデアルト考ヘルノデアリマス。(モウヨシ給ヘ)ト呼フ者アリ。ソレデ一體此五百萬圓ノ金ハ、成ルベク廣ク此一般ノ産業ノ發達ニ關係アルモノニ之ヲ選シテ、當額メルト云フコトハ、甚ダ是ハ必要ナ問題デガイマス。カラシテ、今私共ガ此製鐵所ニ對シテ、最モ急ニ此計畫ヲ政府ガ立テ、豫算ヲ提出シタト云フコトハ、是ハ大ニ我意ヲ得タルモノト信ズルノデガイマス、以上ノ理由ニ依リマシテ南條君ノ反對說ニ對シマシテ、私ガ此豫算ニ贊成スル趣意ヲ簡單ナガラ申シマス

〔採決々々〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、先ヅ第二款ニ付イテ採決ヲ致シマス、原案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、原案ニ決シマシタ、他ノ所管ハ別段反對ハアリマセカ——原案ニ反對ハアリマセカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 異議ハナイト認メマス、次ニ遞信省所管ニ移リマス

〔南條吉左衛門君登壇〕

〔「簡單々々」無用々々〕ト呼フ者アリ

○南條吉左衛門君 私ハ細カイトハ申述べマセヌ、極メテ大體論ヲ好キ性質デガイマス。カラ、ホンノ大體ヲ申シテ簡單ニ終リマス、斯ルチヨット見マスレバ、極ク結構ナ問題ニ私ハ已ムヲ得ズシテ、茲ニ反對致サナケレバナラヌト云フ場合ニ立至ッテ居ル、又反對致シテ妨ガナイ——實際ニ於テ妨ガナイト、斯ウ斷定致シテ居リマス、其理由ハ此東海道鐵道ノ複線工事デアアル、此複線工事ト云フモノハ、誰ガ異議ガアリマセウ、無論異議ノナイ話デアルト思フ、然ラバ、汝ハナゼ是ニ同意シナイ、斯フ云ウ議論ガアラウト思ヒマス、ケレドモ私ハ此事ニ贊成シテ居ル、贊成シテ居レバコソ、四百五十萬圓ト云フ大シタ金ヲ彼ノ一般會計ニ於テ決定致シテ、贊成ヲ與ヘテ居ルノデアアル(間違ッテ居ル、二百萬圓ト云フ者アリ)然ルニ此五百五十萬圓ト云フ金ハ、ドウデアアルカト云ヘバ、是ハ明治四十二年度二百七十萬圓餘ノ金ヲ出スコトニ年度割ガ出來テ居ル、其年度割ヲ繰上ゲテ、茲ニ持ッテ來タノデアアル是モ財源ハト云フト、彼ノ國本培養、所謂民業直接ノ發達ト云フコトノ目的ノ金ヲ公債事業デアアルカラト云フ名ニ於テ、此處ヘ持ッテ來タノデガイマス、而シテ此五百五十萬圓ノ金ヲ此處デ議決致セバ、東海道複線ト云

フモノガ盡ク複線ナルカト言ヒマスレバ、彼ノ木曾川デアルトカ、天龍川デアルトカ、其他ノ橋梁ノ如キニ至ッテハ、決シテマダ此金デハ出來ナイ、是ハ年ヲ逐ッテ拵ヘナケレバナラナイノデアアル、全部ノ複線ト云フコトハ難イノデガイマス、而シテ此鐵道ニ付イテハ即チ年度割ヲ以テ、三十九年度モ、四十年年度モ、皆ソレ——二年度割ノ方法ガ立ッテ居ルノデアアル、諸君、何ヲ苦シンデ今日此公債支辨ト云フヤウナ苦シイ思フシテ、之ヲ引上ゲナケレバナラヌノデガイマセウ、モウ半年モ快ク其通りシテ待ッタコトナラバ、確ニ此目的ヲ遂ケルコトガ出來ルノデガイマス。カ、茲ニ公債支辨ヲ以テ、此事ヲサウト云フノハ、最モ不可デガイマス。カ、私ハ反對ヲ致シマス

〔採決〕ト呼フ者アリ

〔奥野市次郎君登壇〕

○奥野市次郎君 唯今南條君カラ反對ノ御意見ガ出マシタガ、其反對ヲナサル南條君ハ至極贊成デ、結構ナコトデアアルガ、已ムヲ得ズ反對スルト仰シヤラレ、故ニ其已ムヲ得ズ反對ト云フコトヲ取消シテ、至極結構デアアルカラ、贊成スルト云フ風ニシテ戴キタイト思フノデアアル、之ヲ以テ國本培養ノ建議ノ趣意ニ反シタル如ク仰シヤルケレドモ、私ハ之ヲ宜イト思ッテ贊成シタノデス、農商務大臣ノ言振リガ氣ニ食ハナカッタカラ、反對ヲシテ見ヤウト思ッタケレドモ、此方ハ贊成シタノデアアル、ナゼナラバ此戰爭中隨分各地ノ商業會議所及各地ノ商工業者カラ此運輸交通ノ不便ヲ訴ヘテ來タト云フコトハ、非常ナモノデアッタノデス、其事ハ必ズ此實際商工業ニ關係ノアルコロノ諸君ハ御感ジニナッテ居ルコトデアラウト思フノデス、若シ此農業トカ、工業トカ、云フモノデアルト、其直接ノモノヲ捉ヘテ、ソレニ保護スルコトガ出來ルノデアリマス。ケレドモ、商業ノ保護ト云フコトニナリマスルト、ドウシテモ此交通運輸ノ便ト云フモノヲ待ツニアラズンバ、是レ以外ニ於テ直接保護ヲ與ヘル途ガナイト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、故ニ農業モ保護ガ出來工業ノ保護ハ最モ乏シイガ、ソレガ出來テモ、一般ニ對スル保護ハ、鐵道ノ運輸交通ノ機關ヲ便利ニスルト云フコトガ、唯一ノ良法デアルト信ジテ居リマス。カ、今南條君ハ之ヲシタカラト云フテ、直チニ東海道線ガ全ク複線ガ全通スルモノデナイト仰シヤラレタ、ソレハ其通りデアリマス、固ヨリ天龍、富士、大井、木曾、此四大川ノ鐵橋ハ、出來ヌノデアリマス。ケレドモ、其鐵橋ヲ除イテ外ノ部分ダケノ複線ガ出來ルカラ、其複線ガ出來タガタメニ生ズルコロノ時間ノ經濟、此交通運輸ノ便ヲ受ケルトコロノモノハ、極メテ大ナルモノデアラウト信ズルノデアリマス、又本期議會ニ於テモ、此四幹線ノ鐵道ヲ早クヤッテ吳レヨトカ、又現ニ今日モ羽越鐵道ノ速成ニ關スル建議トカ云フモノガ出テ居ルガ、皆是レ交通運輸ノ鐵道トシテヤッテ吳レト云フ趣意ニ外ナラヌト思フノデアアルカラ、是等ノ建議ハ皆諸君ハ贊成シテ御出ニナルノデアアル、全會一致ヲ以テ當院ヲ通過致シタコロノ建議ナドモアルノデアアル、サウ云フモノニ對シテハ全會一致ヲ以テ、贊成ヲシテ置イテ——至極結構デアアルト仰シヤッテ置イテ、其舌ノ未ダ乾カザルニ、今南條君ノ如キ反對ノ御意見ガ出ルト云フモノハ、甚ダ私ハ遺憾ニ存ズルノデアリマス。カ、ドウウ衷心ヨリ宜イト思召シタナラバ、善ハ急ゲト云フコトガアルカラ、一日モ早ク出來ルヤウニ御贊成アラシコトヲ願ヒマス

〔採決〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、選信省所管全部ニ付イテ採決致シマス、原案ニ賛成ノ御方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數アリマス、原案ニ決シマシテ、是ニテ議出臨時部ハ結了ヲ致シマシテ

○恆松隆慶君 乙號、丙號ハ總テ一括シテ問題トサレシコトヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 其他議入全部、乙號、丙號、並ニ豫算ノ第一條、第二條、第三條、其他悉皆ニ付キマシテ、別段反對ハナイノアリマス、是ガ全體ニ付イテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、是ニテ明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案ハ確定ヲ致シマシテ

○元田肇君 本員ハ議長ニ請求スルコトガゴザイマスガ、ソレハ諸願委員ノ權能ニ關スル委員會ガ決定ガマデ出來マセヌカニ、諸願委員受任スベキヤ否ニ付イテ、諸願委員會モ困リテ居ルサウアリマス、然ルニ今日マデ——朝モヤリマシタケレドモ、十分人ガ集ラヌ等ノコトガゴザイマシタニ付キマシテ、唯今ヨリ委員ノ御方ハ御暇ヲ頂戴シテ、是ヨリ諸願委員ノ權能ニ關スル委員會ヲ開キタイト思フ、其許可ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 元田君ノ發議ノ通り、是ヨリ諸願委員ノ權能ニ關スル委員會ヲ開キタイト云フコトハ御異議ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス

○元田肇君 諸願委員ノ權能ニ關スル委員ノ諸君ハ、委員會ニ是非御出席ニナルヤウニ希望致シマス

○江原素七君 本員ノ請求ノコトヲ……

○議長(杉田定一君) マダ豫算ガ殘テ居リマス——第三號明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號明治三十九年度特別會計歳入歳出總豫算追加案、追第二號豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、此三案ニ付イテハ別段反對ガアリマセヌ、此三案ハ原案ノ通り御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 原案通り三案ハ確定ヲ致シマシテ——是ヨリ市街郡村宅地地價修正法案ノ委員會ヲ開キタイト云フ委員會カラ請求ガゴザイマスガ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、又衆議院議員選舉法中改正法律案外二件ノ委員會ヲ開キタイト云フ請求ガアリマスガ、是モ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、又市町村長ニ對スル行賞ニ關スル建議案ノ委員會ヲ是ヨリ開キタイト云フ請求ガアリマスガ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○中倉万次郎君 要求ガアリマス、是ヨリ諸願委員第三分科會ヲ開キタウゴザイマスカラ、許可ヲ得タイ

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(杉田定一君) 靜ニ——諸願委員第三分科會ヲ是ヨリ開キタイト云フ請求ガアリマスガ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○望月長夫君 刑ノ執行猶豫ニ付イテノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ、許可ヲ得タイ

○議長(杉田定一君) 是ヨリ刑ノ執行猶豫ニ付イテノ委員會ヲ開キタイト云フ請求ガアリマスガ、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス——日程第一、生絲検査法案、第一議會ノ續 委員長報告——藤金作君

第一 生絲検査法案(政府提出)

第一議會ノ續(委員長報告)

〔藤金作君登壇〕

○藤金作君 生絲検査法案ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマス、本案ハ否決致シマシタコトヲ簡單ニ報告致シマス、併ナガラチヨット政府ノ心得マデニ簡單ニ三點ダケ其理由ヲ述ベテ置キマス、其反對スルコトコロ第一ノ理由ハ、重要物產ニシテ此生絲ノ如キハ、我帝國ノ輸出ノ物產ノ中デハ、第一位ヲ占メテ、既ニ一億万円以上ニ上テ居ル、而シテハ自由ニ輸出シテ居ルノデアル、茲ニ強制的ニ検査法ヲ設クルノハ、却テ外國商人ニ取引上ノ信用ヲ失フコト云フガ第一ノ理由デアル、第二ノ理由ハ、重要物產トシテ、我邦ノ經濟上最モ保護スベキモノデアル、然ルニ之ニ對シテ手數料ヲ取ラウト云フコトハ、甚ダ不可デアルト云フ理由、第三ノ理由ハ、是ノ如ク強制的ノ検査法ヲ設クルトキハ、生絲ノ輸出等ハ、最モ迅速ヲ要スルモノデアル、然ルニ之ヲ検査スルコト云フコトニナレバ、甚ダ取引上ニ不便ヲ與フルト云フ嫌ガアル、種々理由ハアリマスレドモ、概シテ反對ノ理由ハ、是ノ如キモノデゴザイマス、ソレデハ否決ノ理由ヲ御報告致シマス

〔採決々々ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ニ就イテ二議會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

〔開クベシデハナイト、開クベカラズデアルト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 開クベシト云フニ賛成ノ御方ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 無

○議長(杉田定一君) 開クベカラズト云フニ決シマス、日程第二、臺灣總督府鐵道部現金前渡官吏設置ニ關スル法律案、第一議會ノ續委員長報告、島海哲四郎君

第二 臺灣總督府鐵道部員現金前渡官吏
設置ニ關スル法律案(政府提出貴族 第一讀會ノ續(委員長
院送付)

○島海哲四郎君 本案ノ委員會ニ於キマスル經過ハ、頗ル簡單デゴザイマスカラ、當
席カラシテ、經過ヲ御報告致シマス、委員會ハ、政府委員ノ説明ヲ詳シク聽取リマシタ
末、此法案ハ頗ル宜イヤウナコトニ出來テ居ルガ、是ニ伴ヒマシテ弊害ハナカラウカト云
フ御説モアリマシタノデゴザイマス、之ニ對シテ政府委員ノ答辯ハ、斯様ナコトハ内地ニ
於キマシテモ或部分ニ對シテハ現ニ行ヒツアル、殊ニ此法案ニ依ッテ仕拂ヲ致シマスル
事柄ニ對シテハ、其月毎ニ檢査官ノ檢査ヲ受クルノデアルカラ、決シテ間違ハナカラウト
云フ答辯ガアツタノデゴザイマス、此答辯ニ委員會ハ信賴ヲ致シマシテ、即チ滿場一致ヲ
以テ原案ノ通り決定致シマシタ、願クハ本會ニ於キマシテモ滿場一致ヲ以テ御贊成アラ
ンコトヲ望ミマス

(採決々々)

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ニ付イテハ二讀會ヲ開クベシト云フニ御
異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開キ、斯ウ云フ問題ハ讀會ヲ省略シテ確定ナランコト
ヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通、直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確定
スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、委員長報告通り御異議ハアリマセ
ヌカ

臺灣總督府鐵道部員現金前渡官吏設置ニ關スル法律案 確定議

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ、日程
第三、登錄稅法中改正法律案、第一讀會ノ續、委員長報告中、西光三郎君

第三 登錄稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長
報告)

(東尾平太郎君登壇)

○東尾平太郎君 委員長ハ缺席デゴザイマスカラ、私が代理ラシテ報告致シマス、是ハ
極メテ簡單ナ問題デ、國債ノ多數ニ發行致シマスカラ、十六條ノ國債ノ登記ト云フモ
ノヲ廢シテ、成ルベク公債ノ所有者ニ便宜ヲ與ヘルト云フ問題デゴザイマス、之ガタメニ
登錄稅ノ收入ヲ減シマスノハ五千万圓餘リデ、極ク僅少ナモノデゴザイマス、此登錄稅ヲ
廢シマシテ、公債所有者ニ非常ノ便利ヲ與ヘルノデアリマスカラ、贊成アラシコトヲ望ミ
マス

(採決々々「ト呼フ者アリ」)

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセ
ヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ、確定ナランコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通、直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ確
定スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス委員長報告ノ通り御異議ハアリマセ
ヌカ

登錄稅法中改正法律案 確定議

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ

○恆松隆慶君 此場合緊急勅諭ヲ提出致シマス、曩ニ御報告ニナリマシタコロノ紙
幣類似證券取締法案ト云フモノヲ日程ニ上ホサレテ、委員ニ附託セラレタイノデアリマ
ス、ドウカ諸君ノ御贊成ヲ願ヒマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ紙幣類似證券取締法案ヲ此際日程ヲ變更シ
テ議スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、問題トナリマシタ、議案ノ朗讀ハ省
略致シマス

紙幣類似證券取締法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○恆松隆慶君 是ハ九名ノ委員議長指名ナランコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議通九名ノ委員議長指名ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、日程第四、癩豫防法案ニ移リマス
第一讀會ニ議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、山根正次君

第四 癩豫防法案(山根正次君外二名提出) 第一讀會

癩豫防法案

癩豫防法案

第一條 醫師癩患者ヲ診斷シタルトキハ患者及家人ニ消毒其ノ他豫防方法
ヲ指示シ且三日内ニ行政官廳ニ届出ツヘシ其ノ轉歸ノ場合及死體ヲ檢案
シタル場合亦同シ

第二條 癩患者アル家又ハ癩病毒ニ汚染シタル家ニ於テハ醫師又ハ當該吏員ノ指示ニ從ヒ消毒其ノ他豫防方法ヲ行フヘシ

第三條 癩患者ノ死體ハ消毒方法ヲ施シタル後ニ非サレハ之ヲ他ニ移スコトヲ得ス

癩病毒ニ汚染シ若ハ汚染ノ疑アル物件ハ消毒スルニ非サレハ使用、授與、移轉、遺棄又ハ洗滌スルコトヲ得ス

第四條 癩患者ハ豫防方法ヲ行フニ非サレハ外出スルコトヲ得ス

癩患者公衆ノ用ニ供スル船車ニ入ラムトスルトキハ豫メ其ノ管理人又ハ代理人ニ申出ツヘシ

公衆ノ用ニ供スル船車ニ癩患者ヲ入ラシムル場合ニハ船車ノ管理人又ハ代理人ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ豫防方法ヲ施行スヘシ

第五條 癩患者轉居シ病院若ハ療養所ニ入リタルトキハ本人ヨリ、其ノ行方不明トナリタルトキハ戶籍法第二百二十六條ノ届出義務者ヨリ七日内ニ行政官廳ニ届出ツヘシ

癩患者二日以上ニ渉ル旅行ヲ爲サムトスルトキハ豫メ行政官廳ニ届出ツヘシ

前二項ノ場合ニ於テ本人未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヨリ届出テヲ爲スヘシ

第六條 行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ癩患者ニ對シ左ノ事項ノ全部又ハ一部ヲ禁止若ハ制限スルコトヲ得

一 販賣ノ用ニ供スル飲食物、玩具ノ調製、販賣又ハ客ニ接スル業其ノ他病毒傳播ノ虞アル業ニ從事スルコト

二 學校、製造所、劇場、寄席、浴場、理髮所其ノ他之ニ類スル場所ニ立入ルコト

第七條 行政官廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ癩患者ヲ病院又ハ療養所ニ入ラシムルコトヲ得

第八條 行政官廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ其ノ指定シタル醫師ヲシテ癩患者ノ檢診ヲ行ハシメ又ハ當該吏員若ハ醫師ヲシテ其ノ事由ヲ戶主、首長、管理人又ハ代理人ニ告知シ家宅其ノ他ノ場所ニ立入ラシムルコトヲ得但シ當該吏員若ハ醫師ニハ一定ノ證票ヲ携帯セシムヘシ

第九條 癩ト診斷セラレタル者又ハ其ノ扶養義務者ハ行政官廳ノ指定シタル醫師ノ檢診ヲ求ムルコトヲ得

第十條 行政官廳ノ指定シタル醫師ノ診斷ニ不服アル患者又ハ其ノ扶養義務者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ更ニ檢診ヲ求ムルコトヲ得

第十一條 癩患者ニシテ療養ノ途ヲ有セス且救護者ナキモノアルトキハ行政官廳ハ其ノ扶養義務者ヲ引取ラシムヘシ

前項ノ癩患者ニシテ其ノ扶養義務者ナキトキ又ハ扶養義務者其ノ義務ヲ履行スルコト能ハサル事由アルトキハ行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ

患者ヲ病院若ハ療養所ニ入ラシメ又ハ適當ノ場所ニ於テ救護スヘシ必要ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ前項患者ノ同伴者若ハ同居者ニ對シテモ亦一時相當ノ救護ヲ爲スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ市町村長ヲシテ癩患者及其ノ同伴者若ハ同居者ヲ一時救護セシムルコトヲ得

第十二條 主務大臣ハ必要ト認ムルトキハ癩病院又ハ癩患者療養所ノ設置ヲ府縣ニ命スルコトヲ得

第十三條 救護ニ要スル費用ハ被救護者ノ負擔トシ被救護者ヨリ辨償ヲ得サルトキハ其ノ扶養義務者ノ負擔トス

第七條又ハ第十一條第二項第三項第四項ノ場合ニ於テ之カ爲要スル費用ノ支辨方法及其ノ追徴方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 扶養義務者ニ對スル第十一條ノ患者引取ノ請求及前條ノ費用辨償ノ請求ハ扶養義務者中ノ何人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得但シ費用ノ辨償ヲ爲シタル者ハ民法第九百五十五條及第九百五十六條ニ依リ扶養ノ義務ヲ履行スヘキ者ニ對シ求償ヲ爲スコトヲ妨ケス

第十五條 左ノ諸費ハ府縣ノ負擔トス

一 被救護者又ハ其ノ扶養義務者ヨリ辨償ヲ得サル救護費

二 府縣立癩病院、癩患者療養所又ハ癩患者救護所ニ關スル諸費

三 檢診ニ關スル諸費

四 其ノ他府縣ニ於テ癩預防上施設スル事項ニ關スル諸費

國庫ハ前項及第二十條第四項府縣ノ支出ニ對シ傳染病豫防法第二十五條ノ例ニ依リ補助スルモノトス

第十六條 癩病院又ハ癩患者療養所ヲ設立セムトスルトキハ其ノ設備構造及ヒ管理方法ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ病院又ハ療養所ハ行政官廳ノ檢査ヲ受ケタル後ニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十七條 前條以外ノ病院又ハ療養所ニ於テ癩患者ヲ收容スルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ豫防方法ヲ施行スヘシ

第十八條 官廳公署官公立ノ學校、病院、製造所等ニ於テ癩患者アリタルトキハ其ノ首長ハ本法ニ準シ豫防方法ヲ施行スヘシ

第十九條 消毒方法ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ消毒方法ヲ施行スヘキ義務者之ヲ施行セス又ハ施行スルモ當該吏員ニ於テ充分ナラスト認ムルトキ及必要ノ時限内ニ施行シ得スト認ムルトキハ當該吏員之ヲ施行シ其ノ費用ハ市町村ヲシテ支辨セシムヘシ此ノ場合ニ於テ市町村ハ其ノ費用ヲ義務者ヨリ追徴スルコトヲ得

前項ノ費用追徴ニ關シ不服アル者ハ訴願法ニ依リ訴願スルコトヲ得

市町村ニ於テ本條第二項ニ依リ費用ヲ追徴シ得サルトキハ之ニ對シテハ傳染病豫防法第二十四條ノ例ニ依リ府縣ヨリ補助スヘシ

第二十一條 左ニ掲クル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス
一 醫師第一條ノ届出テヲ爲サス又ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタル者

第二十六條 第二項及第十七條ニ違背シタル者
第二十二條 第二條及第三條ニ違背シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條 左ニ掲クル者ハ十圓以下ノ罰金ニ處ス
一 第四條ニ違背シタル者

二 第六條ノ禁止制限ニ違背シタル者

第二十四條 第五條ニ違背シタル者ハ科料ニ處ス

第二十五條 第二十一條及第二十二條ノ罰金ハ使用人其ノ他ノ從業者ノ所爲ト雖之ヲ其ノ首長又ハ營業者ニ科ス

法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本法ニ違背シタル場合ニ於テハ本法ニ規定シタル罰則ハ之ヲ法人ニ適用ス

法人ヲ所罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

附則

第二十六條 行旅死亡人ノ取扱ヲ受クル者ヲ除クノ外行政官廳ニ於テ救護中死亡シタル癩患者ノ死體又ハ遺留物件ノ取扱ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條 外國人タル癩患者ノ處置ニ關シ別段ノ規定ヲ要スルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 主務大臣ハ必要ト認ムルトキハ地域ヲ指定シ其ノ地域ニ對シ第二條乃至第六條ニ掲クル事項ニ關シ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

主務大臣ハ前項ノ地域ニ對シテハ内外ノ交通又ハ物件ノ出入ニ關シ必要ナル制限ヲ設クルコトヲ得

第二十九條 本法ノ規定ニシテ其ノ準用シ得ヘキモノヲ除クノ外北海道、沖繩縣ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

本法中市町村ニ關スル規定ニシテ其ノ準用シ得ヘキモノヲ除クノ外市制、町村制ヲ施行セサル地ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

本法中市町村長ニ屬スル職務ハ市制、町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ市町村長ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第三十條 本法ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

（山根正次君登壇）

○山根正次君 諸君、本員ハ屢種々ナル建議ヲナシ、又屢法律案ヲ提出致シマシテ、毎々諸君ヲ煩ハスト云フコトニナツテ居リマシテ、甚ダ御氣ノ毒ニ存シマス、併ナガラ是ノ如キコトハ本員ノ專門ニ屬スルコトガ多ク、已ムナク諸君ニ申上ケル次第アリマスルカラ、ドウカ此癩法案ニ對シテモ、少シバカリ説明ヲ致シマスルカラ、御靜聽ヲ願ヒタイノデ

アリマス、此癩病豫防ノコトニ付イテハ、本員ハ十八議會ニ於テ、質問ヲナシ、又昨年ハ急性傳染病豫防法ノ中ニ此案ヲ加ヘ、而シテ差出シマシタコロガ、急性ノモノト、慢性ノモノトハ一緒ニシナイ方ガ宜カラウト云フコトカラシテ、政府ニ於ケレマシテモ、本年ハ此案ヲ提出スルコト云フコトヲ口約サレタニモ拘ハラズ、今日ニ至ルマデ、此癩病豫防病ニ對スル豫防法ヲ立テラレヌデアリマスルガ故ニ、已ムナク本員ガ茲ニ提出ヲ致シタ次第デアリマスル、此病氣ノ恐レベキコトハ、今マデモ申シタルデアリマスルガ、外國ニ於キマシテ中古ニナツテ、是ハ隔離シナケレバナラヌト云フコトカラシテ、全歐洲ニハ殆ド此病氣ヲ絶タノデアリマスル、然ルニ日本國ニ於キマシテハ、此忌ムベキコロノ病氣ハ昔カラアリマシテ、今日ニ尙存在ヲ致シマシテ、其病人ハ實ニ今日多數アルト云フコトニナツテ居ルデアリマス、而シテ之ガ傳染病ト云フコトハ近世ニ於テ、研究發見ヲサレタデアリマシテ、諸君「ハンセン」ト云フ人ガ、此病原菌ヲ見出シマシタ、此病原菌ガ愈々此病氣ヲ惹起スモノデアルト云フコトハ、多數ノ學者ニ於テ證明ヲサレタデアリマスル、ソレノミナラズ布哇國ニ於キマシテハ、死刑ニ處分セラレタコロノ人ニ向ツテ、之ヲ植ヘタ、植ヘマスルト、其植ヘタ部分カラ癩病ガ發生ヲシタ、遂ニソレハ非常ナル癩病ニナツテ、驚レテシマツタデアリマスル、人類ニ向ツテノ検査ハ、是位ノモノデゴザイマスルガ、動物ニ向ツテハ尙成績ヲ得ナイデアリマスル、併ナガラ此微菌ガ居ツテ、其微菌ハドコニ居ルカト云フト、結節癩ナドニナリマスルト、ソコノ部分ニ居ルノミナラズ、是ノ如ク大キナ聲ヲ演説デモスルト、唾ノ中ヘ混ツタリ、洩汁ヘ交ツタリ、涙ニ混ツタリシテ、飛出ス位デアリマスル、誠ニ危險デアリマスル、ソレデアリマスルガ故ニ、ドウカ之ガ豫防法ヲ講ジタイト云フノデ、毎々申シマシタルデアリマスルケレドモ、今日マデ是ニ付イテ政府ニ於テハ、何も經營サレヌデアリマスル、而シテ獨逸ハ千八百九十七年ニ於キマシテ、僅カニ其項ニ於テ五千五百萬人ノ人口ノ間ニ、僅カニ三百七十八人外ナカッタ、然ルニ人類ノ上ニ於テ、是ノ如キ恐レベキ傳染病ガ再ビ流行シ始メタヘケンソダト云フコトカラシテ、人道上ドウシテモ是ハ早ク豫防ノ會議ヲ開カネバナラヌト云フコトカラシテ、即チ萬國癩病豫防會議ト云フモノヲ開イタルデアリマスル、其時ニハ日本カラモ委員ヲ出シテ、之ガ取調ニ從事セシメタルデアリマスル、其時ニハ日本カラ出タコロノ數ハドレダケデアッタカト云フト、三萬三千有餘人ノ病人ガアルト云フコトヲ彼ノ國ヘ申シテヤッタデアリマスル、其時ニ決議サレタコトハ、ドウデアアルカト云フト、癩病ハウツル病デアルト云フコトデアアルカラ、是ハドウシテモ隔離シナケレバイカナイト云フコトノ決議ヲ致シマシテ、此隔離スルニハ國法ヲ設ケテヤラナケレバナラヌト云フコトカラシテ、獨逸ニ於キマシテハ、之ガ法律ヲ拵ヘマシテ、急性傳染病ト一緒ニ第一番ニ之ガ加ヘラレテ居ルデアリマスル、ソレデアリマスル結果トシテ、アチラニハ殆ド此病氣ガ今日ニ於テハ無クナツタデアリマスル、諸君ノ如キハドレダケデアッタト云フト、其項ニハ二千何百人ト云フ病人ガアリマシタガ、昨年ノ統計ニ依リマスルト、僅カニ三百人ニ減ジタルデアリマスル、而シテ一年ニハ新患者ガ一二名ト云フコトニナツタデアリマスル、サウシテ見レバ、早ク之ガ隔離ヲ實行ヤランケレバナラヌモノデアリマスル、隔離スレバ必ズ此病氣ハ減ルト云フコトニナルデアリマスル、然ルニ日本ニアツテハ御存ジノ如ク、是等不幸ナルコロノ病人ニ對シテモ、同情ヲ寄セル人ガ少ナイ、外國人ニ依リテ日本ノ此行路病者等ガ保護サレテ居ル有様デアリマスル、殊ニ

今ヲ去ルコト十二年前ニ於テ、彼ノ英國ノ婦人——令嬢デ「リール」ト云フ人ニ依ッテ、彼ノ熊本ニ回春病院ト云フモノガ立テラレテ、此人カラシテ本國ノ慈善家ニ手紙ヲヤッテ、サウシテ此英國カラノ同情ニ依ッテ金ガ來テ居ル、其金ニ依ッテ回春病院ガ立ッテ居リマスル、此「リール」嬢ト云フ者ハ、此不幸ナル人ヲ救フタメニ生命ヲ犠牲ニ供シテ、イツ何時此病氣ガウツルカモ分ラヌト云フトコロカラ致シマシテ、兩親ニ請ウテ、若シモ此病氣ガウツテモ差支ナイト云フトコロノ許可ヲ雙親カラ得テ、此病人ニ付イテ盡力ヲサレテ居ル、實ニ篤志ナル慈善家デアリマス、是ノ如キコトガアルノニ拘ハラズ、日本ニ於テハ實ニ多數ノ病人ガ出マスルニモ拘ハラズ、一モ是ニ何等ノ保護ナドヲ與ヘラレテ居ラヌデアリマスル、諸君、此兵隊ノ上ニ於テハ、ドレタケ出マスルカ、一年ニ於テ兵隊ニ取ラレ、即チ壯丁ノ中ニ於テ五百八十八人ト云フ癩病患者ガ居ルデアリマスル、ソレハ男性ハカリデアリマスル、女子トモ合セテ、同ヨウウニ女子ニモ出ルトスレバ、一千一百七十六人病人ガアルト云フトコロニナル、此病人ハ獨リ發シテカラ、直ク死ヌルモノデナイ、五年、十年、尙以上活キルモノデ、アリマスルガ故ニ、此數カラ推シテ往キマスルト、内務省デ調べタコトコロノ數ドコロデハ、三倍ニモ、四倍ニモナリ、或ハ十五萬人モ此病人ガアルヤウニ算セラレノデアリマスル、殊ニ此癩病ノ專門シテ居ラレル人、光田健輔、或ハ増田勇ト云フ人ニ依ッテ調ベテ見マスル、ナカ／＼病人ガ多イ、青森縣アタリノ實況ナドヲ此頃調ベテ居リマスルガ、非常ナル病人デアリマスル、デアリマスルガ故ニ、私ハ此病人ニ向ッテハ十分ニ豫防ヲスルコトヲ講ゼネバナラヌデアリマスルガ故ニ、ドウカ此惡レキ病氣ニ向ッテハ、早ク立派ナル處置ガ出來ルヤウニ、殊ニ此行路病者杯ト云フ者ハ、非常ニ憫レナモノデアリマシテ、自分ノ醜ヲサラゲ出シテ、金ヲ貰ッテ居ル、御承知ノ通り東京市ニモ、殊ニ外國人ノ居ルヤウナ所ニ於テ、食ヲ乞フテ居ル、是等ニ向ッテモ大ニ御互ハ同情ヲ拂ハナケレバナラヌ、其結果トシテハ是ヲ保護スル法律ガ出來マセヌト、此病氣ヲシテ益々蔓延セシメテ、日本ハ癩病患者ガ鐵鉋ヲ持ッ、否ナ、播木ノヤウナ手ヲ以テハ、鐵鉋ガ持アヌヤウニナリマスルノミナラズ、工業ノ上ニ於テモ、衛生ノ上ニ於テモ、妨ヲ爲スデアリマスルガ故ニ、此法案ヲ提出シマシタカラ、委員會ニ於テ詳シク御話ヲ致シマスルケレドモ、ドウカ諸君ニ於キマシテモ、恐レベキ傳染病デアルカラ、早ク防グ方法ヲ講ゼニヤナラヌト云フトコカラシテ、委員付託ニナッテ會期切迫ノトキデハアリマスルケレドモ、早ク貴族院ニ回ルヤウニ致シタイト思ヒマスカラ、御贊成ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、九名ノ委員ヲ議長指名ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス——日程第五、狩獵法中改正法律案、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略シマス

第五 狩獵法中改正法律案(森肇君外二名提出) 第一讀會

狩獵法中改正法律案 第一讀會

第十一條 免狀ヲ受クル者ハ甲乙各種ニ付左ノ區別ニ從ヒ免許稅ヲ納ムヘシ

一 所得稅三百圓以上地租千五百圓以上營業稅千圓以上ヲ納ムル者 金五十圓

二 一等ノ家族及所得稅百圓以上地租五百圓以上營業稅三百圓以上ヲ納ムル者 金三十圓

三 二等ノ家族及所得稅三十圓以上地租百五十圓以上營業稅百圓以上ヲ納ムル者 金十五圓

四 三等ノ家族及所得稅十圓以上地租三十圓以上營業稅二十圓以上ヲ納ムル者 金十圓

五 一等、二等、三等、四等以外ノ者 金五圓

附則

本法施行ノ日ヨリ非常特別稅法ニ依ル狩獵免許稅ノ増徴ヲ爲サス

○恆松隆慶君 是ハ提出者ノ說明ヲ略シテ、議長指名九名ノ委員ニ附託セラレシコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り九名ノ委員ヲ議長指名ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス——日程第六、監視廢止ニ關スル法律案、是ハ委員會長ヨリ延期ヲ申出デ居リマスルガ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイモノト認メマス——日程第七、大船渡開港鐵道鐵業ニ關スル建議案、——議案ノ朗讀ヲ省略シマス、阿部德三郎君

第七 大船渡開港鐵道鐵業ニ關スル建議案(阿部德三郎君外九名提出)

大船渡開港鐵道鐵業ニ關スル建議案

巖手縣大船渡灣ハ舞鶴港ヲ除クノ外全國中其ノ比ヲ見サル最良港灣ナルコトハ識者ノ夙ニ承認スル處ニシテ曩ニ衆議院ニ於テ同港ヲ商港トナスノ建議ヲ採用シタルモ亦之カ爲ニ外ナラス唯該港力陸運ノ便ヲ缺クカ爲ニ開港シ難キノ事情ナキニ非サルヲ以テ去ル明治二十三年榎本武揚外二百八十四名等カ大船渡開港鐵道鐵業株式會社ヲ組織シ開港ノ目的ヲ達スル爲一方ニ於テ鐵道ヲ敷設スルト同時ニ他方ニ於テ其ノ鐵道並商港ヲ維持スルノ方法トシテ其ノ經過線路附近ニ散在セル鐵礦ヲ開掘セムトノ計畫ヲ爲シタルニ際シ同年二月衆議院ハ右三事業ニ對スル工業總額一千二百萬圓ノ内四百萬圓ヲ國庫ヨリ補助スルノ提案アラムコトヲ滿場一致ヲ以テ建議スルコトニ可決シタルモ其ノ後日露ノ時局ニ際會シ遷延以テ今日ニ至レリ由來東北ノ地タル交通機關缺乏ノ爲文化開ケス事業起ラヌト雖此ノ三事業ノ成立ヲ見ルニ至ラハ國富ヲ増進スル少小ナラサルモノアリ特ニ現下製鐵ノ急切ヲ感シ政府ニ於テモ今回製鐵所擴張費ヲ追加豫算トシテ要求シ且内地ニ於ケル原料ノ產出ヲ獎勵スル場合ニ際シ斯ノ如キハ一日モ忽諸ニ附スヘキアラス唯該事業ノ如キハ巨額ノ資本ト多年ノ歲月ヲ要スルヲ以テ之ヲ一私立會社ノ獨立經營ニ一任シ國庫ノ補助ヲ與フルナクハ到底其ノ成立ヲ見ルヘカラス故ニ政府ハ明治二十三年二月本院ニ於ケル建議ノ趣旨ニ基キ戰後經營ノ計畫ニ伴ヒ該事業ニ對スル相當ノ立案ヲ

爲シ以テ國運ノ伸張富源ノ開發ニ資セラレムコトヲ望ム
右建議ス

〔阿部德三郎君登壇〕

○阿部德三郎君 私人提出ノ理由ヲ說明シヤウト思フノデアリマス、諸君、日露戰爭ノ結果ハ國運ノ伸張ト生産ノ發達ヲ促ガスコトノ益、急ナルコトハ、茲ニ申上ケルマデモナイコトデアル、此時ニ於テ我東北ノ現狀ハ如何デアルカト願ミテ見マス、商業振ハズ、工業起ラズ、碌々トシテ其日ヲ送テ居ル有様ハ、吾々東北人ノ實ニ云フニ忍ビザルトコロデアリマス、而シテ何故ニ而シテ何故ニ是ノ如キ有様デアルカト申シマス、イロ／＼原因モゴザイマセウケレドモ、私ノ見ルトコロヲ以テ致シマスレバ、東北ニ開港場ノナイト云フコトガ、確カニ一大原因デアラウト信ズルノデアリマス、元來我邦ノ此商港ノ配置ノ狀況ハドウナデ居ルカ、甚ダ偏在ヲ致シテ居テ、一方ニ重ク、一方ニ輕イト云フコトノ誤ハ免レナイト思フノデアリマス、試ニ其有様ヲ申上ケテ見マス、横濱ヨリ西ノ方ニハ或ハ半田、四日市、絲崎、口ノ津、神戸、門司、嚴原ト云フガ如ク商港ハ各所ニ散在ヲ致シマス、帆船林立相競フトコロノ盛況ヲ呈シテ居ルノデアリマス、然ルニ關東、東北ニ於ケルコトノ狀況ハ如何相成デ居ルカト申シマス、唯一ノ横濱港ト云フモノガアリマスバカリ、横濱ヨリ青森ニ至ルトコロノ五百五十海里ノ間ニ、一ノ商港ト云フモノモナイノデアル、是ノ如キコトハ我貿易ノ獎勵發達ヲ圖ル上ニ於テ、如何デゴザイマセウカ、帝國ノ商略ノ上ニ於テ一體私ハ違算アルト信ズルノデアリマス、諸君、我東北ハ如何ナルモデアアルカト云フコトハ、東北、御承知ノ御方ハ御存シデモアラウト思フノデアリマス、面積ハ廣漠デアリマス、地味ハ甚ダ肥ヘテ居ルノデアリマス、山野ヲ開拓スルコトモ出來マスレバ、又礦業ノ開掘ヲモナスコトガ出來ルノデアリマス、殊ニ我鐵手縣ノ如キニ於キマス、此鐵山ノ特有地トモ申シテ宜シノデアリマス、鐵脈ト云フモノハ全縣下ヲ蔽ウテ居ルト云フモ決シテ過言デナイ狀況デアリマス、又其隣縣ノ秋田ノ如キハ、金銀銅鐵ガ澤山デゴザイマシテ、年々開發セラレ、トコロノ地モ増加シテアリ、アルノデアリマス、是ノ如キ寶庫ヲ持チナガラ、東北ノ開發ト云フモノハ何故ニ遲々トシテ進歩シナイノデアアルカト申シマス、先刻モ申上ゲマシタル如ク、商港ノ設ケノナイト云フコトハ、確ニ其原因デアラウト考ヘルノデアリマス、果シテ然リト致シマスレバ此東北ノ東海岸ニ一ノ商港ヲ設ケマシテ、サウシテ輸出入ノ途ヲ開クト云フコトハ、通商貿易上ノ政策ニ於テ、最モ必要ナルコトデアラウト信ズルノデアリマス、然ルニ恰モ好シ、鐵手縣ノ氣仙郡大船渡灣ナルモノハ、彼ノ海軍ノ肝付中將ノ調査致シマス、タコロニ依リマシテハ、全國ニ於テ舞鶴港ヲ除ク外、其比ヲ見ザルト云フトコロノ天然ノ良港デアアルノデアリマス、サルガ故ニ此議會ニ於キマス、第十三議會ニ於テハ、同港ヲ商港トスルト云フコトノ建議案ヲ採用サレテ居リマス、又第十四議會ニ於キマス、丁度此際ニ彼ノ榎本君外二百八十四名、大船渡開港鐵道鐵業株式會社ト云フモノヲ組織スルニ方デ其工費ノ總額千二百萬圓ニ對シ、其三分ノ一ノ四百萬圓ヲ補助スルト云フコトノ建議案ガ、本院ニ於テ滿場一致ヲ以テ可決セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ是ノ如ク商港ニシロト云フ建議案モ通テ居リ、又此補助ヲ與ヘルト云フコトノ建議案モ採用セラレテ居ルニモ拘ハラズ、其時ハ日本ノ經濟界ノ狀況ガ甚ダ振ハナカッタ、又ソレニ亞イテ日露戰爭ト云フモノガ起リマシタ結果、其事業ニ一頓挫ヲ來シマス、遂ニ其目的ヲ達スルコトガ出來ナイデ參ッダデアリマス、然ルニ今日日露ノ戰役ト云フモノガ戰マデ、サウシテ我邦ノ地位ハ更ニ進ンデ、一等國ノ伍

伴ニ入ルト云フコトノ今日ニ相成リマシタノデアリマス、此時ニ於テ東北ノ富源ヲ開發スルト云フコトハ、最モ必要ナルコトデアルト信ズルノデアリマス、故ニ今回此建議案ヲ提出致シマス、大次第デゴザイマス、願ハクハ審議ヲ盡サレマシテ御贊成アラントヲ希望致シマス

〔贊成ノ聲起ル〕

○恆松隆慶君 此建議案ハ九名ノ委員ニ調査セシメテ、サウシテ院議デ立派ニ決議致シタト思ヒマス、ドウカ議長指名ナランコトヲ……

○議長(杉田定一君) 恆松君ノ發言ノ通り、九名ノ委員、議長指名ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス——日程第八、帝國議會議事堂建築ニ關スル建議案——議長朗讀ヲ省略致シマス

第八 帝國議會議事堂建築ニ關スル建議案(橫井時雄君外三名提出)

帝國議會議事堂建築ニ關スル建議案
政府ハ本期議會ニ三箇年繼續シテ議院修繕費ノ豫算ヲ提出シ既ニ兩院ノ議決ヲ經タリ然ルニ此ノ修繕ヲ以テスルモ假議事堂ハ向後十箇年ヲ耐持スルニ過キスト謂フ今ニ於テ本議事堂ノ建築ニ著手スルハ最必要ノコト、認ム依リテ政府ハ速ニ之ヲ提案ヲ爲サムコトヲ望ム

○恆松隆慶君 是ハドウウ說明ヲ略シテ九名ノ委員、議長指名ナランコトヲ望ミマス、提出者モ承諾シテ居リマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發言ノ通、九名ノ委員、議長指名ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、日程第九市町村立小學校教員俸給國庫補助ニ關スル建議案——委員長報告——星松三郎君

第九 市町村立小學校教員俸給國庫補助ニ關スル建議案(根本正君外五名提出)

〔星松三郎君登壇〕

〔短クヤリ給ヘト呼フ者アリ〕

○星松三郎君 市町村立小學校教員俸給國庫補助ニ關スル建議案——本案ハ四度會ヲ開キマシテ(ソナナコトハ言ハナイデモ宜イ)ト呼フ者アリ、取分ケ總理大臣兼外務大臣ノ出席ヲ請ヒマシテ、審議討論ノ末、全會一致ヲ以テ可決致シマス、モデアリマス、諸君モ(採決々々)ト呼フ者アリ、滿腔ノ熱血ヲ注イデ同情アラントヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、委員長ノ報告通り御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、委員長ノ報告通り決シマシタ、日程第十、羽越鐵道速成ニ關スル建議案、委員長報告——首藤陸三君

第十 羽越鐵道速成ニ關スル建議案(瀬下秀夫君 (委員長報告) 外三名提出)

(首藤陸三君登壇)

○首藤陸三君 委員會ノ願末ヲ御報告致シマス、羽越鐵道速成ニ關スル建議案、是ハ審議ノ末、僅ニ修正ヲ加ヘマシテ「新潟縣下新發田ヨリ村上ニ至ル鐵道中坂町附近ヨリ分岐山形縣下米澤ニ至ル羽越鐵道建設」是ダケノ修正アリマシテ、別段御異議ノナイコト、信ジマス、大多數ヲ以テ決定シタモノデゴザイマス、此段御報告致シマス

○恆松隆慶君 賛成デゴザイマス、採決採決

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、委員長報告ノ通、御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○武藤金吉君 此第十一ノ足尾銅山鑛毒處分ノ法案ハ委員長報告通り御贊成ヲ願ヒタイモノデアリマス

(「マダ報告ガナイ」ト呼フ者アリ)

○武藤金吉君 是ハ先達報告ガアツノデアリマス

(松浦五兵衛君登壇)

○松浦五兵衛君 委員長ニ代テ極ク簡單ニ御報告致シマス

○議長(杉田定一君) 十一カラ十四マデ併セテ一括シテ、報告ヲ致サセマス

第十一 (特別報告第十七號) 足尾銅山鑛毒處分 (委員長報告) 請願外二件

第十二 (特別報告第二十號) 渡良瀨川沿岸地方 (委員長報告) 特別地價洩再修正ノ請願外三件

第十三 (特別報告第二十三號) 渡良瀨川沿岸地方 (委員長報告) 特別地價院議實行ノ請願

第十四 (特別報告第二十一號) 工業專門學校設立 (委員長報告) 立ノ請願

○松浦五兵衛君 日程第十一ハ足尾銅山鑛毒處分ノ請願デゴザイマシテ、是ハ請願委員會ニ於テハ、院議ニ附スベキモノト決シマシテゴザイマス、ソレカラ十二ハ渡良瀨川沿岸地方特別地價修正洩再修正ノ請願外三件デ、是ハ皆同様ノ趣意ヲ以テ、渡良瀨川沿岸ノ地價修正ヲサレタケレドモ、尙修正洩ノアルタメニ、非常ニ不公平ニナツテ居ルカラ、再調査ヲシテ修正ヲシテ吳レト云フ請願デ、是モ亦院議ニ附スベキモノト決定致シマシタ、十二ハ渡良瀨川沿岸地方特別地價院議實行ノ請願デ、是ハ既ニ前年ノ議會ニ於テ議決サレタケレドモ、是ハ尙實行サレテ居ラス、之ヲ實行シテ吳レト云フコトデアリマス、是亦院議ニ附スベキモノト決シマシタ、十四ハ工業專門學校設立ノ請願、是ハ山形縣ヘ工業專門學校ヲ設立シテ吳レト云フデアリマシテ、之ニ付イテハ既ニ現在仙臺ニ工業學校ハゴザイマス、ソレハ土木採金冶金電氣科ニ止ツテ居リマシテ染織染織科ト云フモノハナイノデアリマス、山形縣下ノ如キハ此染織物ニ付イテハ、本邦ニ於テモ有數ノ產地ナルニモ拘ハラズ、此學校ノナイハ頗ル遺憾アルカラシテ、設立スルヤウニト云フ請願デゴザイマシテ、是亦其趣意ヲ相當ト認メ、院議ニ附スベキモノト、委員會ハ決シマシテゴザイマス

○恆松隆慶君 唯一一括ニナツテ居ル十一、十二、十三ニハ少異論モアリマス、此場合デゴザイマスカラ、サウ云フコトハ總テ一括シテアルカラ、採決スベキモノト決セラレン

コトヲ望ミマス
○議長(杉田定一君) 日程第十一ヲ議題ト致シマス——採擇スルト云フニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 採擇スルコトニ決シマス、日程第十二、十三ハ曩ニ議長ニ於キマシテ同種類ノモノガ決議ニナツテ居リマスルカラシテ、是ハ削除スルト云フコトヲ申シマシタ、然ルトコロ武藤君ヨリ異議ノ申立ガアリマシタ、武藤君カラ其理由ヲ……

○武藤金吉君 渡良瀨川沿岸地方特別地價洩再修正、是ハ洩レテ居ル分デゴザイマシテ、事件ハ同一事件デゴザイマス、郡村ガ異ツテ居リマス、皆別物デアリマス、採擇ヲ希望致シマス、ソレカラ十三ノ地價修正、是ハ昨年兩院デ議決ニナツテ居ルモノデアリマス、未ダ實行サレテ居リマセヌデゴザイマス、是ハ實行ヲ願ヒタイト云フ請願デアリマス

○議長(杉田定一君) 然ラバ先ダ先決問題トシテ、此十二、十三ヲ削ルカ、削ラザルカト云フコトニ付イテ決ヲ採リマス、削ルト云フ御方ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無

○議長(杉田定一君) 起立者ガアリマセヌデ、削ラズト云フコトニナリマシタ

○恆松隆慶君 十二、十三ハ一括シテ採擇スベシ

○議長(杉田定一君) 十二、十三ハ一括シテ採決ヲ致シマス、此二案ハ採擇スルト云フニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、日程第十四、工業專門學校設立ノ請願

○議長(杉田定一君) 採擇ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス——マダ御諮リ致シテ置クコトガアリマス、明日ハ日曜日デアリマス、會期切迫ノ今日デアリマス、議事ノ進行上委員會ハ開クヤウニシタイト存シマス、此段希望ヲ述ベテ置キマス、本會議ハ月曜日に開ク積リデアリマス——報告ガアリマス

(書記朗讀)

一 貴族院ハ本院送付ニ係ル明治三十七年度豫備金支出ノ件、明治三十七年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、明治三十七年度特別會計豫備金支出ノ件、明治三十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、明治三十七年度清國事件第二豫備金支出ノ件、明治三十七年度臨時事件豫備費支出ノ件ニ對シ承諾スルコトヲ議決シ、本院送付ニ係ル政府提出廢兵院法案、軍人恩給法中改正法律案、農行銀行補助法中改正法律案及本院提出議院法中改正法律案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

○議長(杉田定一君) 委員ノ氏名及次ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知ヲ致シマス、本日ハ是ニテ散會ヲ致シマス

午後三時三十分散會